

2021年3月期第2四半期
(中間期) 決算説明資料

株式会社 四 国 銀 行

《2021年3月期第2四半期（中間期）決算説明資料》

		頁
1. 2021年3月期第2四半期（中間期）決算の概況	2
(1) 損益状況	単	2
	連	3
(2) 業務純益	単	4
(3) 利鞘	単	4
(4) 有価証券関係損益	単	4
(5) 有価証券の評価損益	単・連	5
① 有価証券の評価基準	単・連	5
② 評価損益	単・連	5
(6) 自己資本比率（国内基準）	単・連	6
(7) ROE	単	6
2. 貸出金等の状況	7
(1) リスク管理債権の状況	単・連	7
(2) リスク管理債権の保全状況	単	7
(3) 貸倒引当金の状況	単・連	8
(4) 金融再生法開示債権	単	8
(5) 金融再生法開示不良債権の保全状況	単	8
《参考》自己査定・金融再生法開示債権・リスク管理債権の状況		
	単	9
(6) 業種別貸出状況等	単	10
① 業種別貸出金	単	10
② 業種別リスク管理債権	単	10
③ 個人ローン残高	単	11
④ 中小企業等貸出金	単	11
3. 預金等・貸出金・預り資産残高	11
(1) 預金等・貸出金の残高	単	11
(2) 個人・法人等別預金残高	単	11
(3) 預り資産残高	単	12
① 総額	単	12
② 個人	単	12
4. 通期業績予想	単・連	12

《補足資料》

2020年度中間決算の概要

1. 2021年3月期第2四半期(中間期)決算の概況

(1) 損益状況

【単体】

(単位:百万円)

		2020年中間期		2019年中間期
		2019年中間期比		
業 務 粗 利 益	1	14,798	△ 476	15,274
(コア業務粗利益) (注) 1	2	15,445	848	14,597
資 金 利 益	3	13,530	895	12,635
役 務 取 引 等 利 益	4	1,899	△ 47	1,946
そ の 他 業 務 利 益	5	△ 630	△ 1,322	692
う ち 債 券 関 係 損 益	6	△ 646	△ 1,323	677
経 費 (除く臨時処理分) (△)	7	11,902	△ 126	12,028
人 件 費 (△)	8	5,667	△ 5	5,672
物 件 費 (△)	9	5,481	△ 136	5,617
税 金 (△)	10	753	15	738
実 質 業 務 純 益 (注) 2	11	2,896	△ 350	3,246
(コア業務純益) (注) 3	12	3,543	974	2,569
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	13	3,532	1,039	2,493
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (△)	14	167	△ 380	547
業 務 純 益	15	2,728	29	2,699
臨 時 損 益	16	1,254	△ 438	1,692
不 良 債 権 処 理 額 (△)	17	434	347	87
貸 出 金 償 却 (△)	18	13	△ 83	96
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (△)	19	356	388	△ 32
そ の 他 (△)	20	64	41	23
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	21	—	—	—
償 却 債 権 取 立 益	22	668	△ 264	932
株 式 等 関 係 損 益	23	712	206	506
そ の 他 臨 時 損 益	24	307	△ 34	341
経 常 利 益	25	3,983	△ 408	4,391
特 別 損 益	26	91	153	△ 62
固 定 資 産 処 分 損 益	27	94	116	△ 22
固 定 資 産 処 分 益	28	108	108	—
固 定 資 産 処 分 損 (△)	29	14	△ 8	22
減 損 損 失 (△)	30	2	△ 37	39
税 引 前 中 間 純 利 益	31	4,074	△ 255	4,329
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 (△)	32	961	193	768
法 人 税 等 調 整 額 (△)	33	235	83	152
法 人 税 等 合 計 (△)	34	1,197	277	920
中 間 純 利 益	35	2,877	△ 531	3,408
与 信 関 係 費 用 (注) 4	36	601	△ 34	635
実 質 与 信 関 係 費 用 (注) 5	37	△ 66	231	△ 297

(注) 1 (2)コア業務粗利益=(1)業務粗利益-(6)債券関係損益

(注) 2 (11)実質業務純益=(1)業務粗利益-(7)経費(除く臨時処理分)

(注) 3 (12)コア業務純益=(11)実質業務純益-(6)債券関係損益

(注) 4 (36)与信関係費用=(14)一般貸倒引当金繰入額+(17)不良債権処理額-(21)貸倒引当金戻入益

(注) 5 (37)実質与信関係費用=(36)与信関係費用-(22)償却債権取立益

【連結】

＜連結損益計算書ベース＞

(単位：百万円)

		2020年中間期		2019年中間期
			2019年中間期比	
連結粗利益(注)1	1	14,865	△ 551	15,416
資金利益	2	13,190	824	12,366
役員取引等利益	3	2,305	△ 52	2,357
その他業務利益	4	△ 630	△ 1,322	692
営業経費(△)	5	12,124	6	12,118
与信関係費用(△)	6	674	△ 107	781
貸出金償却(△)	7	21	△ 78	99
個別貸倒引当金繰入額(△)	8	430	327	103
一般貸倒引当金繰入額(△)	9	158	△ 396	554
その他の不良債権処理額(△)	10	64	41	23
貸倒引当金戻入益	11	—	—	—
償却債権取立益	12	668	△ 264	932
株式等関係損益	13	712	206	506
持分法による投資利益	14	40	4	36
その他	15	483	114	369
経常利益	16	3,971	△ 390	4,361
特別損益	17	91	153	△ 62
税金等調整前中間純利益	18	4,062	△ 237	4,299
法人税、住民税及び事業税(△)	19	1,056	202	854
法人税等調整額(△)	20	244	103	141
法人税等合計(△)	21	1,301	306	995
中間純利益	22	2,761	△ 542	3,303
非支配株主に帰属する中間純利益(△)	23	2	1	1
親会社株主に帰属する中間純利益	24	2,759	△ 543	3,302
実質与信関係費用(注)2	25	5	156	△ 151

(注)1 (1)連結粗利益＝(資金運用収益－資金調達費用)＋(役員取引等収益－役員取引等費用)
＋(その他業務収益－その他業務費用)

(注)2 (25)実質与信関係費用＝(6)与信関係費用－(12)償却債権取立益

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	4	—	4
持分法適用会社数	1	—	1

(2) 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	2020年中間期		2019年中間期
		2019年中間期比	
実質業務純益	2,896	△ 350	3,246
職員一人当たり(千円)	2,121	△ 221	2,342
業務純益	2,728	29	2,699
職員一人当たり(千円)	1,999	52	1,947

(3) 利鞘【単体】

<全店>

(単位：%)

	2020年中間期		2019年中間期
		2019年中間期比	
資金運用利回(A)	0.98	△ 0.02	1.00
貸出金利回	1.07	△ 0.05	1.12
有価証券利回	1.05	△ 0.03	1.08
資金調達原価(B)	0.84	△ 0.09	0.93
預金等利回	0.01	△ 0.01	0.02
外部負債利回	0.32	△ 0.37	0.69
総資金利鞘(A) - (B)	0.14	0.07	0.07

<国内>

(単位：%)

	2020年中間期		2019年中間期
		2019年中間期比	
資金運用利回(A)	0.90	0.03	0.87
貸出金利回	1.06	△ 0.02	1.08
有価証券利回	0.92	0.04	0.88
資金調達原価(B)	0.84	△ 0.05	0.89
預金等利回	0.01	0.00	0.01
外部負債利回	0.06	0.01	0.05
総資金利鞘(A) - (B)	0.06	0.08	△ 0.02

(4) 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2020年中間期		2019年中間期
		2019年中間期比	
債券関係損益	△ 646	△ 1,323	677
売却益	337	△ 483	820
償還益	0	0	-
売却損	355	297	58
償還損	586	548	38
償却	41	△ 5	46
株式等関係損益	712	206	506
売却益	1,206	△ 2	1,208
売却損	492	408	84
償却	2	△ 615	617

(5) 有価証券の評価損益

① 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法（評価差額を全部純資産直入）
子会社株式及び関連会社株式	原価法

② 評価損益

(単位：百万円)

【単体】	2020年9月末					2020年3月末			2019年9月末		
	評価損益					評価損益			評価損益		
		2020年3月末比	2019年9月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関係会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	32,177	11,958	△ 7,525	36,286	4,108	20,219	28,259	8,040	39,702	43,876	4,173
株式	14,215	4,329	865	16,091	1,875	9,886	12,611	2,724	13,350	16,941	3,590
債券	7,489	370	△ 5,439	9,064	1,574	7,119	8,895	1,776	12,928	13,129	200
その他	10,471	7,258	△ 2,951	11,131	659	3,213	6,753	3,539	13,422	13,805	382
合計	32,177	11,958	△ 7,525	36,286	4,108	20,219	28,259	8,040	39,702	43,876	4,173
株式	14,215	4,329	865	16,091	1,875	9,886	12,611	2,724	13,350	16,941	3,590
債券	7,489	370	△ 5,439	9,064	1,574	7,119	8,895	1,776	12,928	13,129	200
その他	10,471	7,258	△ 2,951	11,131	659	3,213	6,753	3,539	13,422	13,805	382

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

2. 2020年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、22,347百万円であります。

(単位：百万円)

【連結】	2020年9月末					2020年3月末			2019年9月末		
	評価損益					評価損益			評価損益		
		2020年3月末比	2019年9月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	33,055	12,114	△ 7,370	37,164	4,108	20,941	28,987	8,045	40,425	44,598	4,173
株式	15,093	4,484	1,020	16,969	1,875	10,609	13,338	2,729	14,073	17,663	3,590
債券	7,489	370	△ 5,439	9,064	1,574	7,119	8,895	1,776	12,928	13,129	200
その他	10,471	7,258	△ 2,951	11,131	659	3,213	6,753	3,539	13,422	13,805	382
合計	33,055	12,114	△ 7,370	37,164	4,108	20,941	28,987	8,045	40,425	44,598	4,173
株式	15,093	4,484	1,020	16,969	1,875	10,609	13,338	2,729	14,073	17,663	3,590
債券	7,489	370	△ 5,439	9,064	1,574	7,119	8,895	1,776	12,928	13,129	200
その他	10,471	7,258	△ 2,951	11,131	659	3,213	6,753	3,539	13,422	13,805	382

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)連結貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

2. 2020年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、22,964百万円であります。

(6) 自己資本比率 (国内基準)

【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
① 自己資本比率 (②/③)	8.78%	0.15%	△ 0.47%	8.63%	9.25%
② 自己資本の額	126,194	2,195	△ 5,585	123,999	131,779
③ リスク・アセットの額	1,436,195	△ 578	12,968	1,436,773	1,423,227
④ 総所要自己資本額	57,447	△ 23	518	57,470	56,929

(注) 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に4%を乗じた額であります。

【連結】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
① 自己資本比率 (②/③)	9.11%	0.15%	△ 0.47%	8.96%	9.58%
② 自己資本の額	131,710	2,014	△ 5,540	129,696	137,250
③ リスク・アセットの額	1,445,487	△ 641	13,157	1,446,128	1,432,330
④ 総所要自己資本額	57,819	△ 26	526	57,845	57,293

(注) 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に4%を乗じた額であります。

(7) ROE 【単体】

(単位：%)

	2020年中間期			2019年度	2019年中間期
		2019年度比	2019年中間期比		
実質業務純益ベース	4.14	△ 1.45	△ 0.29	5.59	4.43
業務純益ベース	3.90	△ 1.58	0.21	5.48	3.69
中間(当期)純利益ベース	4.11	2.03	△ 0.55	2.08	4.66

(注) 1. (実質)業務純益ベース

$$\frac{\text{(実質)業務純益}}{\text{(期首自己資本 + 中間期末(期末)自己資本)} \div 2} \times \left[\frac{365}{183} \right] \times 100$$

(中間期のみ)

2. 中間(当期)純利益ベース

$$\frac{\text{中間(当期)純利益}}{\text{(期首自己資本 + 中間期末(期末)自己資本)} \div 2} \times \left[\frac{365}{183} \right] \times 100$$

(中間期のみ)

※ 自己資本=純資産の部合計-新株予約権

2. 貸出金等の状況

(1) リスク管理債権の状況

(部分直接償却実施後)

【単体】

(単位：百万円)

		2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末	
			2020年3月末比			2019年9月末比
リスク管理債権	破綻先債権	197	△ 86	△ 88	283	285
	延滞債権	36,481	△ 49	2,117	36,530	34,364
	3カ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	3,575	619	188	2,956	3,387
	合計	40,254	484	2,217	39,770	38,037

貸出金残高(末残)	1,846,820	62,454	92,572	1,784,366	1,754,248
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(単位：%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01
	延滞債権	1.97	△ 0.07	0.02	2.04	1.95
	3カ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.19	0.03	0.00	0.16	0.19
	合計	2.17	△ 0.05	0.01	2.22	2.16

【連結】

(単位：百万円)

		2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末	
			2020年3月末比			2019年9月末比
リスク管理債権	破綻先債権	454	△ 94	△ 162	548	616
	延滞債権	36,704	△ 25	2,111	36,729	34,593
	3カ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	3,575	619	188	2,956	3,387
	合計	40,733	499	2,136	40,234	38,597

貸出金残高(末残)	1,847,299	62,469	92,491	1,784,830	1,754,808
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(単位：%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.02	△ 0.01	△ 0.01	0.03	0.03
	延滞債権	1.98	△ 0.07	0.01	2.05	1.97
	3カ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.19	0.03	0.00	0.16	0.19
	合計	2.20	△ 0.05	0.01	2.25	2.19

(2) リスク管理債権の保全状況【単体】

(単位：百万円、%)

	2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末	
		2020年3月末比			2019年9月末比
リスク管理債権額	40,254	484	2,217	39,770	38,037
貸倒引当金	8,300	261	583	8,039	7,717
担保保証等	25,411	△ 541	909	25,952	24,502
貸倒引当金引当率	20.61	0.40	0.33	20.21	20.28
保全率	83.74	△ 1.72	△ 0.96	85.46	84.70

(3) 貸倒引当金の状況

【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
貸倒引当金	13,627	355	△ 4,712	13,272	18,339
一般貸倒引当金	5,661	167	△ 5,239	5,494	10,900
個別貸倒引当金	7,965	187	526	7,778	7,439

【連結】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
貸倒引当金	14,328	337	△ 4,817	13,991	19,145
一般貸倒引当金	5,813	158	△ 5,257	5,655	11,070
個別貸倒引当金	8,515	180	440	8,335	8,075

(4) 金融再生法開示債権【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
金融再生法開示債権	4,234	△ 2,886	△ 1,406	7,120	5,640
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	32,603	2,733	3,414	29,870	29,189
危険債権	3,575	619	188	2,956	3,387
要管理債権	40,413	465	2,196	39,948	38,217
小計(A)	1,843,390	64,604	93,855	1,778,786	1,749,535
正常債権	1,883,803	65,069	96,051	1,818,734	1,787,752
合計					

(単位：%)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
構成比	0.22	△ 0.17	△ 0.09	0.39	0.31
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1.73	0.09	0.10	1.64	1.63
危険債権	0.18	0.02	0.00	0.16	0.18
要管理債権	2.14	△ 0.05	0.01	2.19	2.13
小計	97.85	0.05	△ 0.01	97.80	97.86
正常債権					

(5) 金融再生法開示不良債権の保全状況【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
保全額(B)	33,864	△ 308	1,465	34,172	32,399
貸倒引当金	8,357	222	547	8,135	7,810
担保保証等	25,506	△ 531	917	26,037	24,589

(単位：%)

保全率(B)/(A)	83.79	△ 1.75	△ 0.98	85.54	84.77
------------	-------	--------	--------	-------	-------

《参考》自己査定・金融再生法開示債権・リスク管理債権の状況【単体】

(単位:百万円)

自己査定		金融再生法開示債権			リスク管理債権		
債務者区分 与信残高		区分 与信残高(総与信比率) (A)	担保・保証等 引当金 保全額合計(B)	保全率 (B)/(A)	区分 貸出金残高(貸出金比率)		
破綻先債権 202		破産更生債権及び これらに準ずる債権 4,234(0.22%)	2,561	100.00%	破綻先債権 197(0.01%)		
実質破綻先債権 4,032			1,673				
			4,234				
破綻懸念先債権 32,603		危険債権 32,603(1.73%)	21,947	86.48%	延滞債権 36,481(1.97%)		
			6,249				
			28,197				
要注意先 債権 147,916	要管理先 債権 4,509	要管理債権 3,575(0.18%)	998	40.05%	3カ月以上延滞債権 -()		
			434				
			1,432			貸出条件緩和債権 3,575(0.19%)	
	その他 要注意先 債権 143,406	[小計] 40,413(2.14%)	25,506	83.79%	[合計] 40,254(2.17%)		
			8,357				
			33,864				
正常先債権 1,699,049		正常債権 1,843,390					
総与信残高 1,883,803		総与信残高 1,883,803			貸出金残高 1,846,820		

(注) 総与信残高には、自行保証付私募債(時価)を含めて記載しております。

(6) 業種別貸出状況等【単体】

① 業種別貸出金

(単位：百万円)

業種別	2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末	
	2020年3月末比	2019年9月末比			
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	1,846,820	62,454	92,572	1,784,366	1,754,248
製造業	191,185	1,029	△ 283	190,156	191,468
農業、林業	2,147	176	△ 12	1,971	2,159
漁業	2,544	199	602	2,345	1,942
鉱業、採石業、砂利採取業	3,453	3	405	3,450	3,048
建設業	56,067	9,833	10,992	46,234	45,075
電気・ガス・熱供給・水道業	51,143	813	1,395	50,330	49,748
情報通信業	13,195	544	969	12,651	12,226
運輸業、郵便業	45,802	2,163	5,373	43,639	40,429
卸売業	91,919	3,174	2,274	88,745	89,645
小売業	107,588	10,928	11,528	96,660	96,060
金融業、保険業	31,585	△ 1,759	△ 1,277	33,344	32,862
不動産業	264,982	12,379	24,043	252,603	240,939
物品賃貸業	39,504	△ 3,067	△ 4,221	42,571	43,725
学術研究、専門・技術サービス業	8,152	1,204	1,806	6,948	6,346
宿泊業	9,703	1,425	1,676	8,278	8,027
飲食業	15,118	4,740	5,451	10,378	9,667
生活関連サービス業、娯楽業	14,113	△ 357	△ 13,968	14,470	28,081
教育、学習支援業	12,484	4,664	△ 11,267	7,820	23,751
医療・福祉	110,429	6,271	6,525	104,158	103,904
その他のサービス	31,970	996	4,164	30,974	27,806
地方公共団体	297,937	△ 3,479	24,905	301,416	273,032
その他	445,791	10,578	21,494	435,213	424,297

② 業種別リスク管理債権

(単位：百万円)

業種別	2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末	
	2020年3月末比	2019年9月末比			
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	40,254	484	2,217	39,770	38,037
製造業	7,092	155	△ 108	6,937	7,200
農業、林業	129	17	△ 9	112	138
漁業	211	△ 29	△ 23	240	234
鉱業、採石業、砂利採取業	1,363	△ 14	△ 7	1,377	1,370
建設業	2,836	△ 1	203	2,837	2,633
電気・ガス・熱供給・水道業	4	0	0	4	4
情報通信業	426	143	279	283	147
運輸業、郵便業	419	50	125	369	294
卸売業	4,100	518	348	3,582	3,752
小売業	6,174	155	△ 307	6,019	6,481
金融業、保険業	38	△ 8	△ 3	46	41
不動産業	4,376	405	457	3,971	3,919
物品賃貸業	270	30	99	240	171
学術研究、専門・技術サービス業	164	3	13	161	151
宿泊業	1,527	88	487	1,439	1,040
飲食業	1,541	421	520	1,120	1,021
生活関連サービス業、娯楽業	2,127	△ 1,964	△ 62	4,091	2,189
教育、学習支援業	607	38	463	569	144
医療・福祉	3,177	747	469	2,430	2,708
その他のサービス	1,075	△ 154	△ 772	1,229	1,847
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	2,587	△ 116	42	2,703	2,545

③ 個人ローン残高

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
住 宅 ロ ー ン	320,285	4,789	11,555	315,496	308,730
そ の 他 ロ ー ン	28,029	△ 2,072	△ 3,151	30,101	31,180
合 計	348,314	2,716	8,403	345,598	339,911

④ 中小企業等貸出金

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
中 小 企 業 等 貸 出 金	1,285,060	71,485	96,303	1,213,575	1,188,757
うち中小企業向け貸出金	931,475	69,655	88,828	861,820	842,647

3. 預金等・貸出金・預り資産残高

(1) 預金等・貸出金の残高【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
預 金 等 (末 残)	2,850,102	170,650	210,873	2,679,452	2,639,229
(平 残)	2,827,464	159,791	143,171	2,667,673	2,684,293
貸 出 金 (末 残)	1,846,820	62,454	92,572	1,784,366	1,754,248
(平 残)	1,835,172	71,879	75,386	1,763,293	1,759,786

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

(2) 個人・法人等別預金残高【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
個 人 (末 残)	1,836,443	64,919	83,689	1,771,524	1,752,754
法 人 等 (末 残)	946,779	77,397	96,202	869,382	850,577
合 計	2,783,222	142,315	179,891	2,640,907	2,603,331

(注) 譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分は、含んでおりません。

(3) 預り資産残高 【単体】

① 総額

(単位：百万円)

	2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比		
預り資産残高	251,286	1,305	△ 9,126	249,981
公 共 債	16,367	△ 184	△ 1,278	16,551
投 資 信 託	48,589	4,169	△ 3,322	44,420
個人年金保険等	186,329	△ 2,680	△ 4,526	189,009

② 個人

(単位：百万円)

	2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比		
個人預り資産残高	244,313	1,439	△ 8,504	242,874
公 共 債	11,406	85	△ 714	11,321
投 資 信 託	46,577	4,033	△ 3,264	42,544
個人年金保険等	186,329	△ 2,680	△ 4,526	189,009

4. 通期業績予想

【単体】

(単位：百万円、%)

	2020年度 予想	2019年度比		2019年度 実績
			増減率	
経常収益	39,800	△ 3,102	△ 7.23	42,902
経常利益	7,200	4,509	167.55	2,691
当期純利益	4,500	1,605	55.44	2,895

【連結】

(単位：百万円、%)

	2020年度 予想	2019年度比		2019年度 実績
			増減率	
経常収益	39,800	△ 3,170	△ 7.37	42,970
経常利益	7,300	4,203	135.71	3,097
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,500	1,404	45.34	3,096

株式会社四国銀行

2020年度中間決算の概要

目次

当行単体の数値について概要を説明したものです。
 数値については、億円未満を切り捨てて（一部百万円未満を切り捨て）表示しております。
 説明文の増減につきましては、億円未満を切り捨てて記載しております。

1.	2020年度中間期損益の概況	3
2.	資金利益（貸出金利息と平均残高・利回り）	4
3.	資金利益（有価証券利息配当金と平均残高・利回り）	5
4.	役務取引等利益	
	（1）内訳	6
	（2）個人コンサルティング収益、法人コンサルティング収益	7
5.	経費及び経営効率	8
6.	与信コスト及び与信コスト率、有価証券関係損益	9
7.	総預金及び個人預り資産残高	10
8.	貸出金残高及び個人ローン残高	11
9.	有価証券残高・評価損益	12
10.	自己資本比率	13
11.	不良債権の状況	14
12.	2020年度業績予想	15
13.	中期経営計画の進捗状況（4月～9月）	
	戦略目標Ⅰ 四銀スタイルの確立	16
	戦略目標Ⅱ BPR・ICT戦略の加速	17
	戦略目標Ⅲ 3つのコンサルティング機能の発揮	18
	戦略目標Ⅳ 持続可能な財務基盤・経営基盤の確立	19
	SDGsの取組み	20

1. 2020年度中間期損益の概況

資金利益は増加し経費は減少しましたが、その他業務利益が減少したため、実質業務純益は前年同期比3億円減少の28億円となりました。業務純益は、一般貸倒引当金繰入額の減少により、前年同期並みの27億円となりました。臨時損益は、株式等関係損益が増加しましたが、不良債権処理額の増加や償却債権取立益の減少等により、前年同期比4億円減少の12億円となりました。これらの結果、経常利益は、前年同期比4億円減少の39億円、中間純利益は、法人税等の増加もあり同5億円減少の28億円となりました。

(百万円)

	2019年度中間期	2020年度中間期	前年同期比
経常収益	21,051	20,486	△ 565
業務粗利益	15,274	14,798	△ 476
コア業務粗利益	14,597	15,445	848
資金利益	12,635	13,530	895
役務取引等利益	1,946	1,899	△ 47
その他業務利益	692	△ 630	△ 1,322
国債等債券関係損益	677	△ 646	△ 1,323
経費	△ 12,028	△ 11,902	△ 126
人件費	△ 5,672	△ 5,667	△ 5
物件費	△ 5,617	△ 5,481	△ 136
税金	△ 738	△ 753	15
実質業務純益	3,246	2,896	△ 350
コア業務純益	2,569	3,543	974
コア業務純益（投資信託解約損益除く）	2,493	3,532	1,039
一般貸倒引当金繰入額	△ 547	△ 167	△ 380
業務純益	2,699	2,728	29
臨時損益	1,692	1,254	△ 438
不良債権処理額	△ 87	434	347
償却債権取立益	932	668	△ 264
株式等関係損益	506	712	206
その他	341	307	△ 34
経常利益	4,391	3,983	△ 408
特別損益	△ 62	91	153
税引前中間純利益	4,329	4,074	△ 255
法人税等	△ 920	△ 1,197	277
中間純利益	3,408	2,877	△ 531

資金運用収益（主として有価証券利息配当金）が増加し、資金調達費用（主として外貨調達費用）が減少しました。

評価損の拡大している投資信託についてリスク圧縮・ポートフォリオ改善目的から売却を実施したため、国債等債券関係損益は損失となりました。

業務の見直しと効率化を推し進め、人件費や物件費が減少しました。

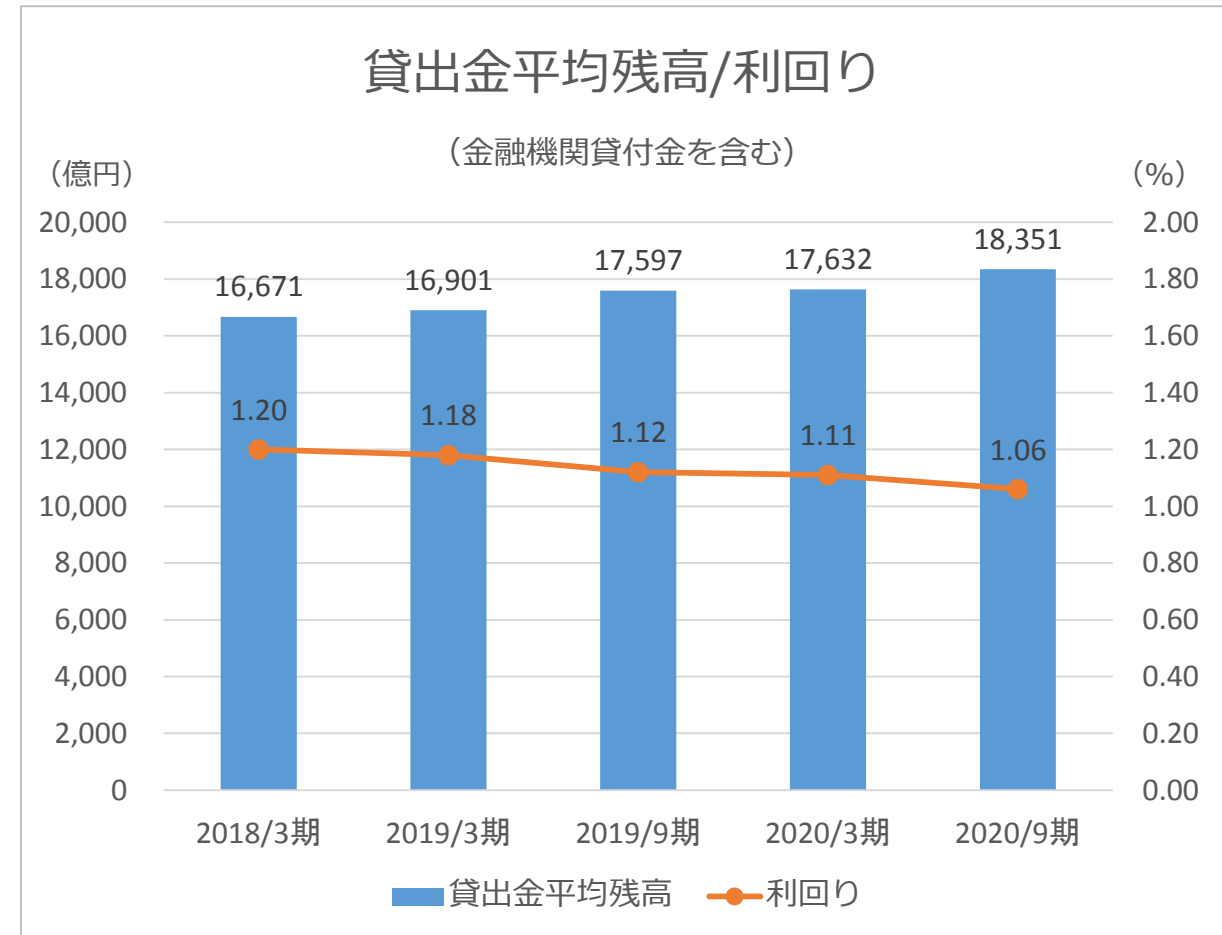
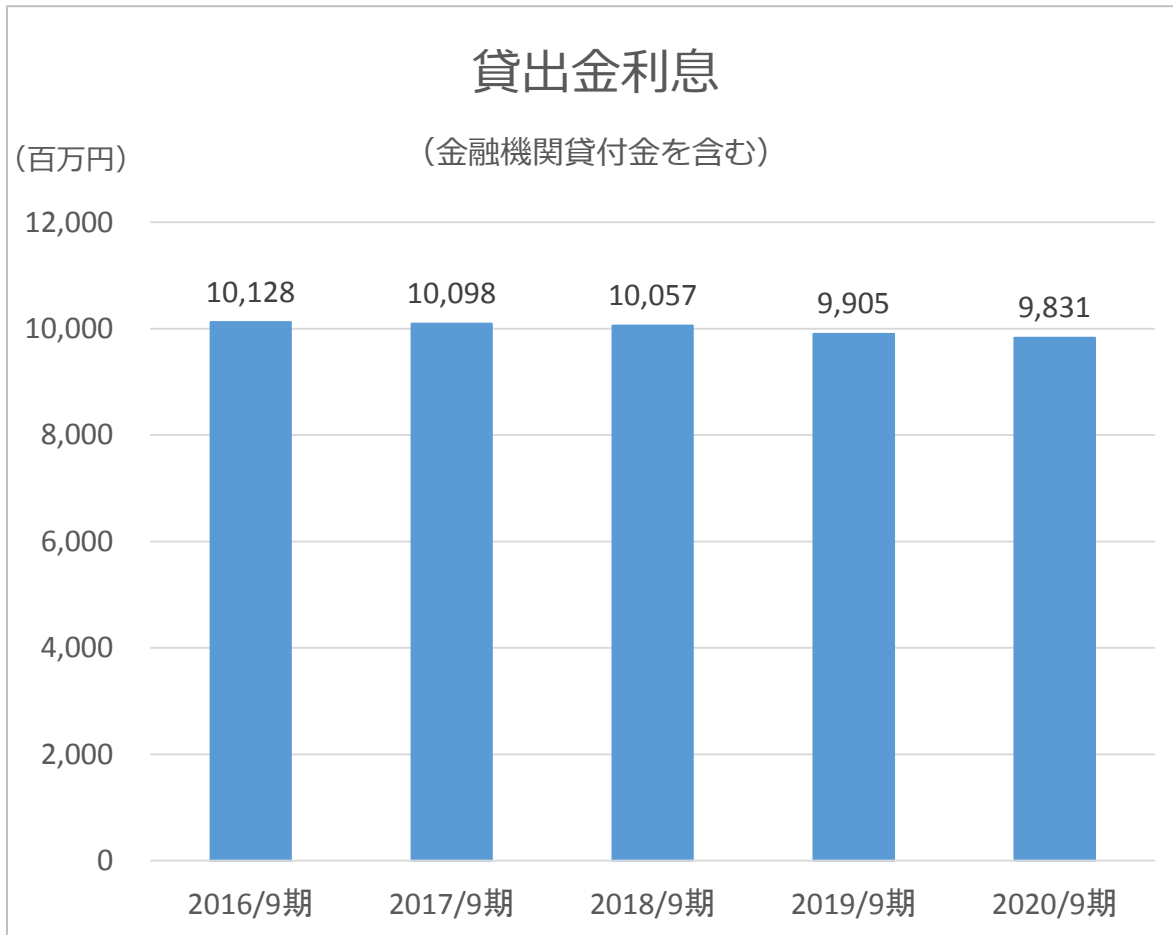
実質与信関係費用は、償却債権取立益の減少によりマイナス額が減少しましたが、ほぼゼロの水準となりました。

固定資産の減損損失の減少に加え、遊休資産の売却による処分益を計上しました。

中間純利益は上記要因により、5億円減少しました。

2. 資金利益（貸出金利息と平均残高・利回り）

事業性評価を軸としたコンサルティング活動を推進したことに加え、3月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大により事業に影響を受けたお客さまに対する資金繰り支援を通じ、貸出金平均残高は増加しましたが、貸出金利回りの低下が続き、貸出金利息は前年同期比0億円（74百万円）減少の98億円となりました。



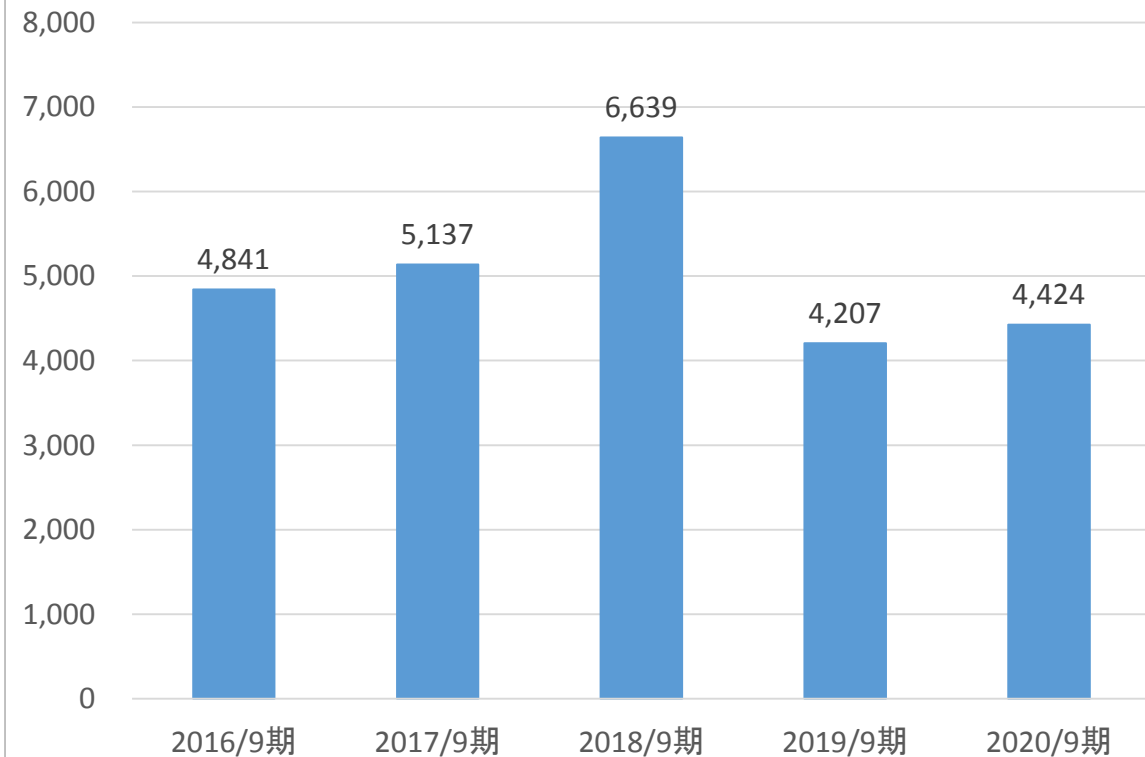
3. 資金利益（有価証券利息配当金と平均残高・利回り）

マイナス金利政策の継続に加え、世界的に低金利傾向が強まる厳しい投資環境のなか、運用強化に努めました結果、有価証券利息配当金は前年同期比2億円増加の44億円となりました。

有価証券利息配当金

(商品有価証券を除く)

(百万円)

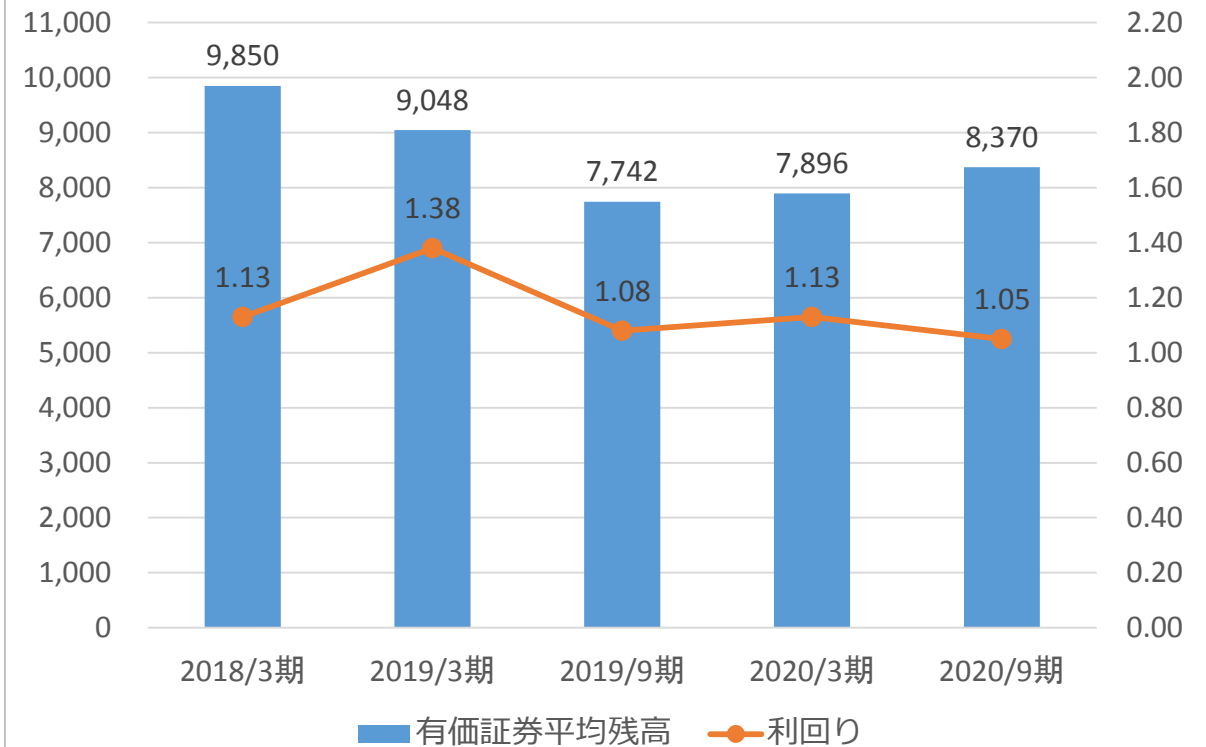


有価証券平均残高/利回り

(商品有価証券を除く)

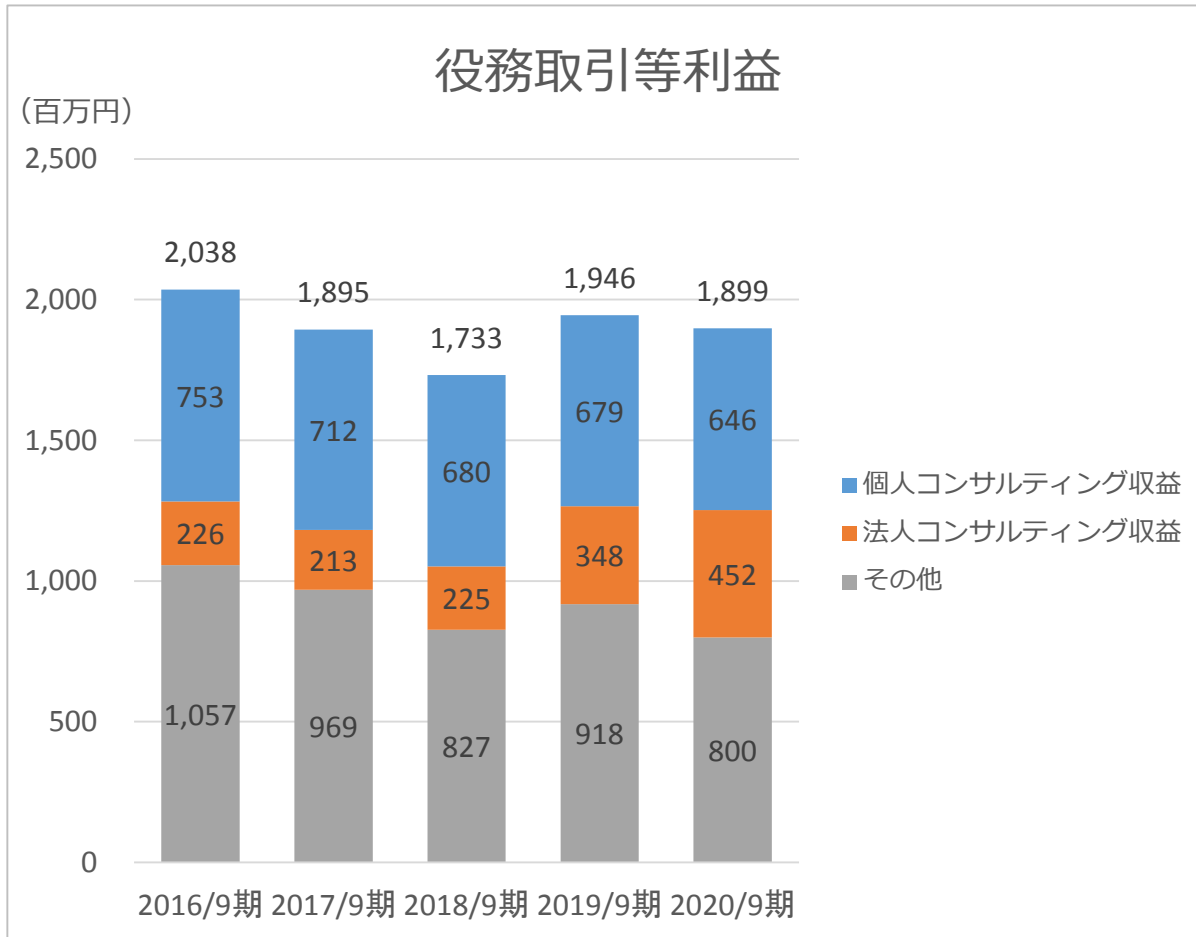
(億円)

(%)

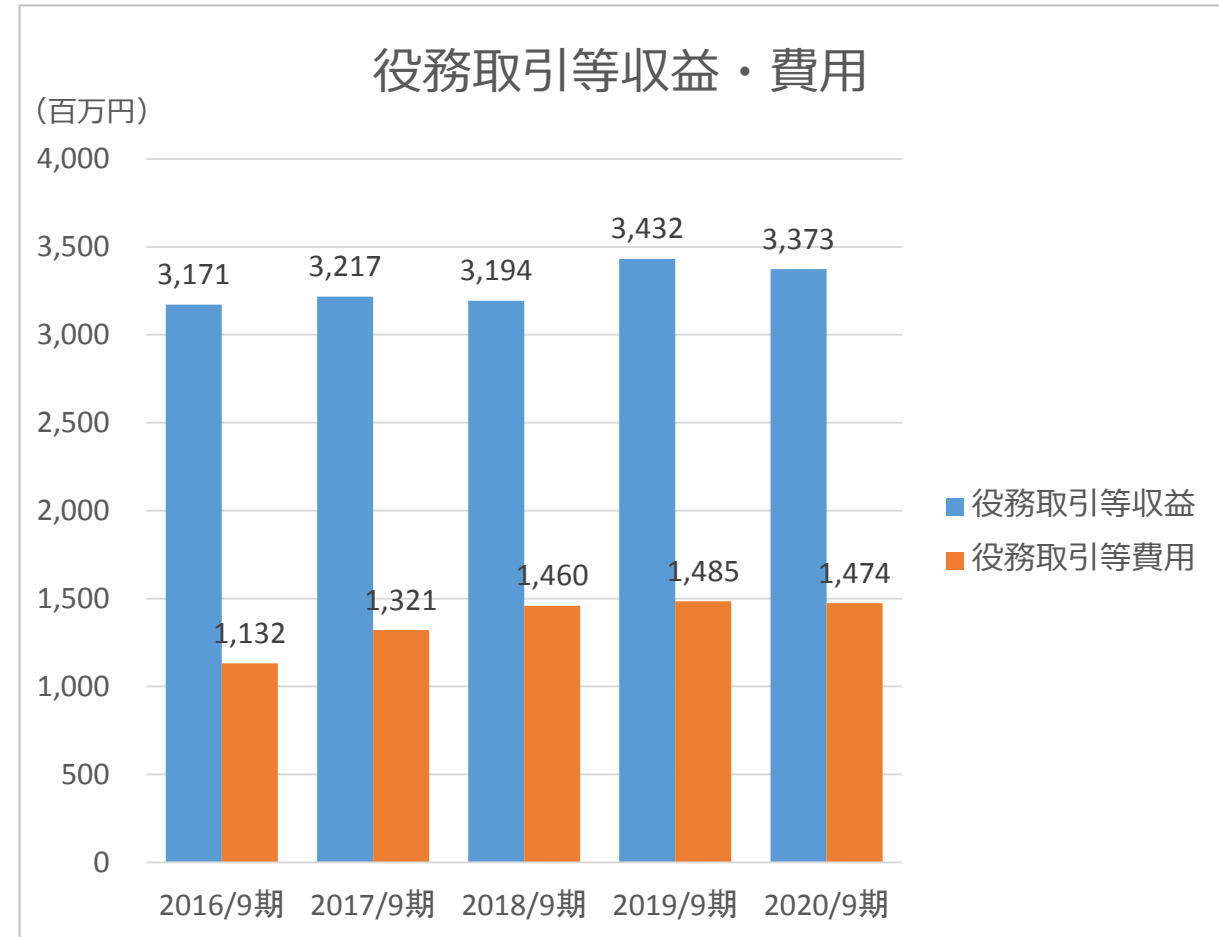


4. 役務取引等利益（1）内訳

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり個人コンサルティング収益は減少しましたが、法人コンサルティング収益が増加し、ほぼ前年同期並みの18億円となりました。



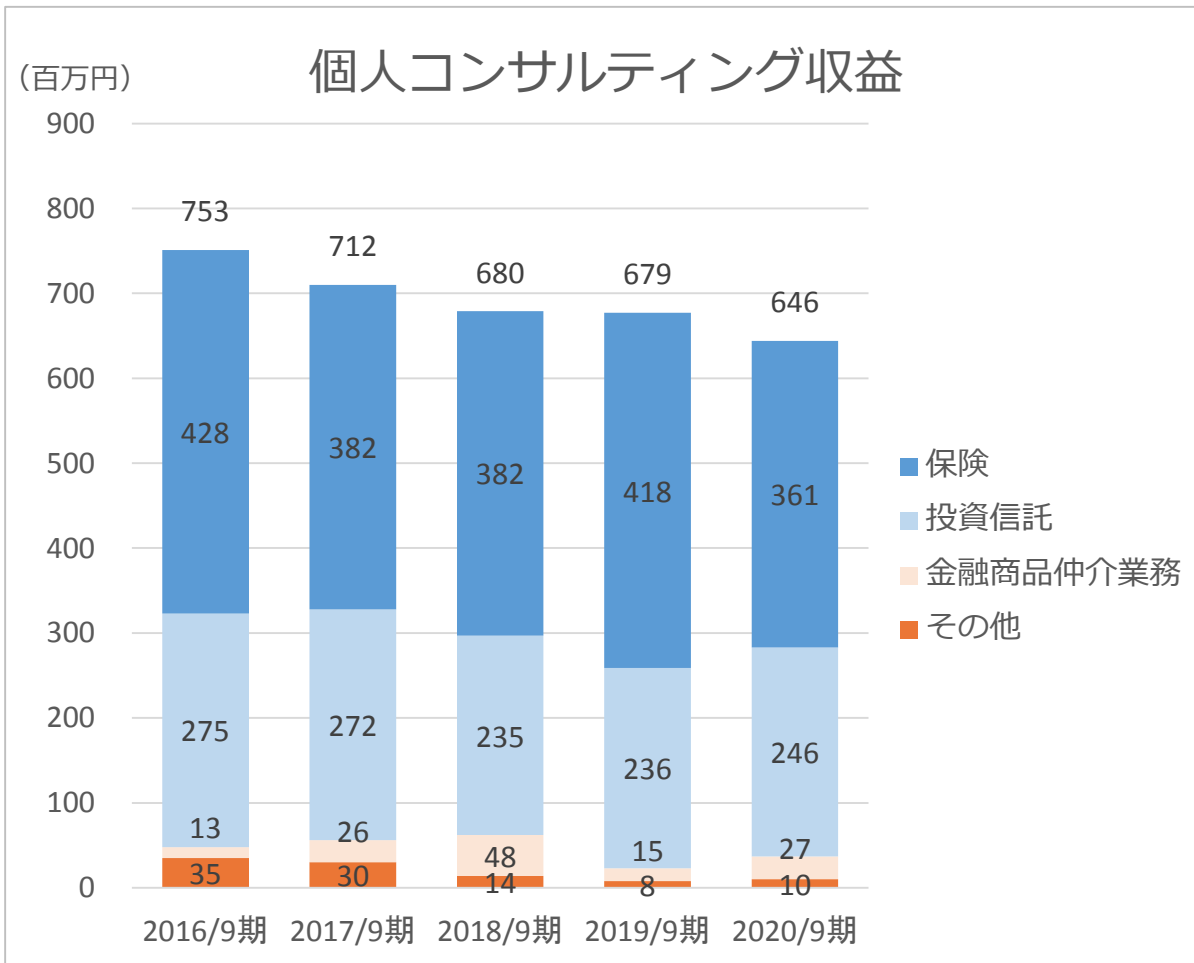
(注) 管理会計ベース



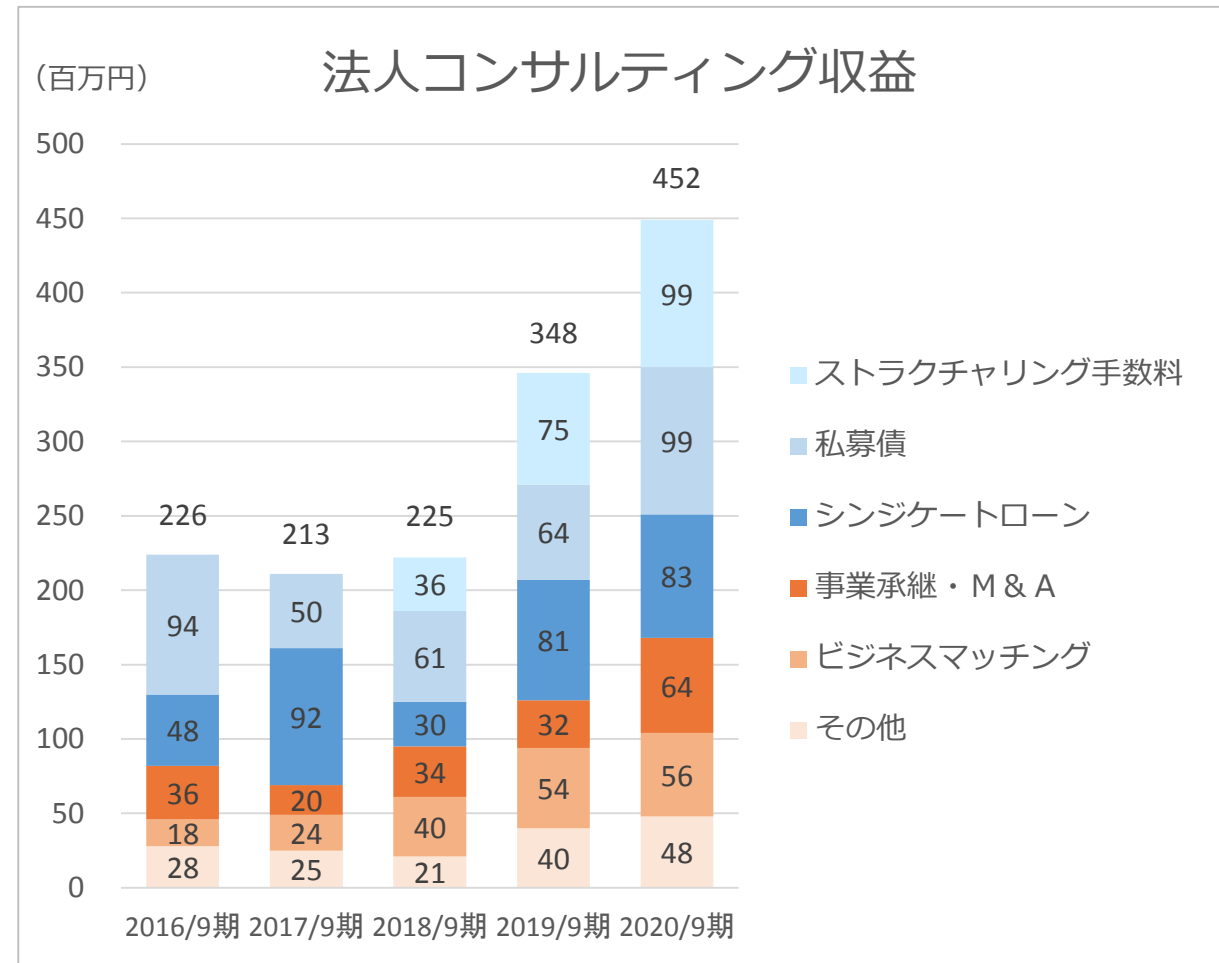
4. 役務取引等利益（2）個人コンサルティング収益、法人コンサルティング収益

お客様の資産形成ニーズに合わせた幅広いご提案に努めましたが、新型コロナウイルス感染症に配慮した営業活動の影響等もあり、前年同期比0億円（33百万円）減少の6億円となりました。

多様な資金調達ニーズに対応したスキームの構築や、事業承継・M&Aニーズへの積極的な取組み等により、前年同期比1億円増加の4億円となりました。



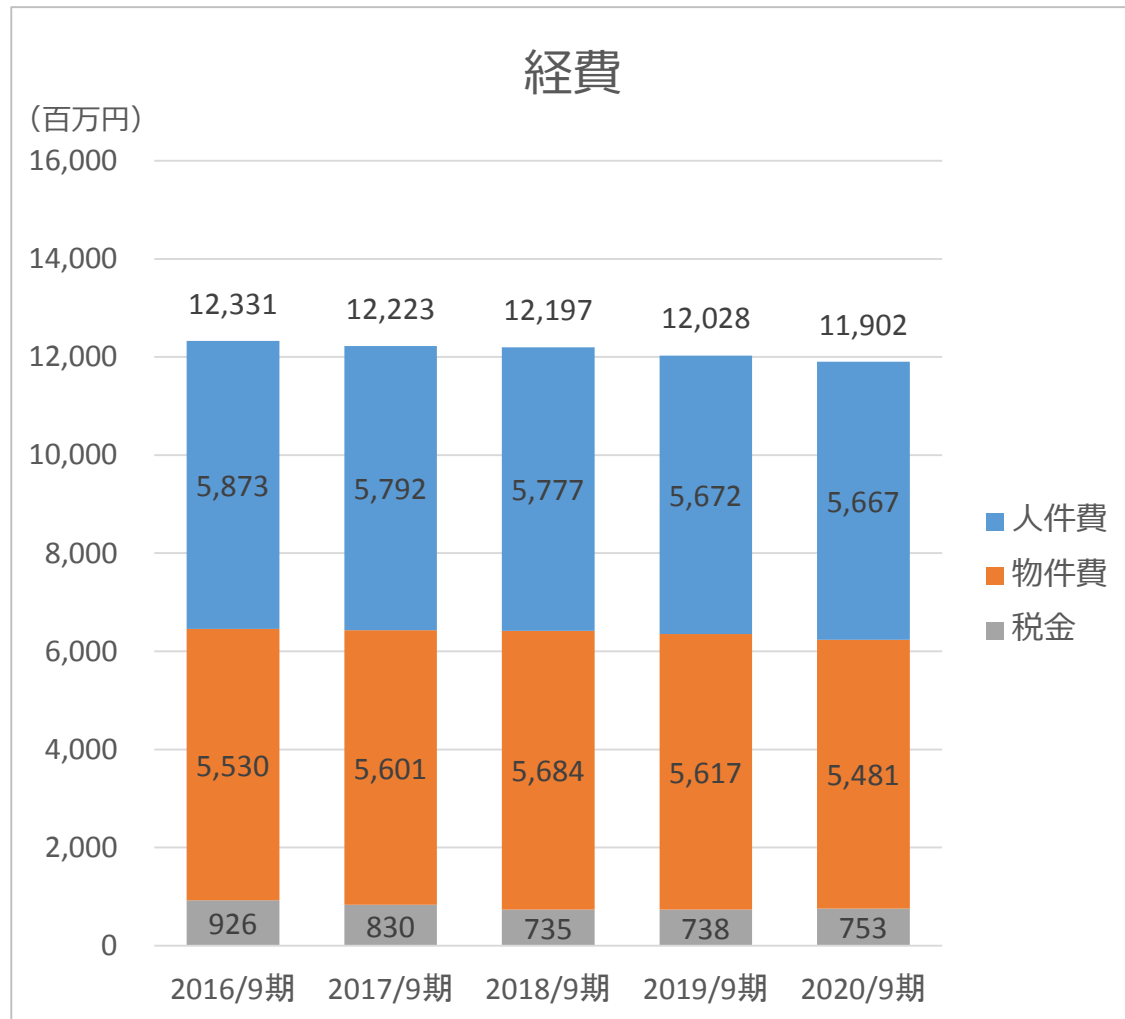
(注) 管理会計ベース



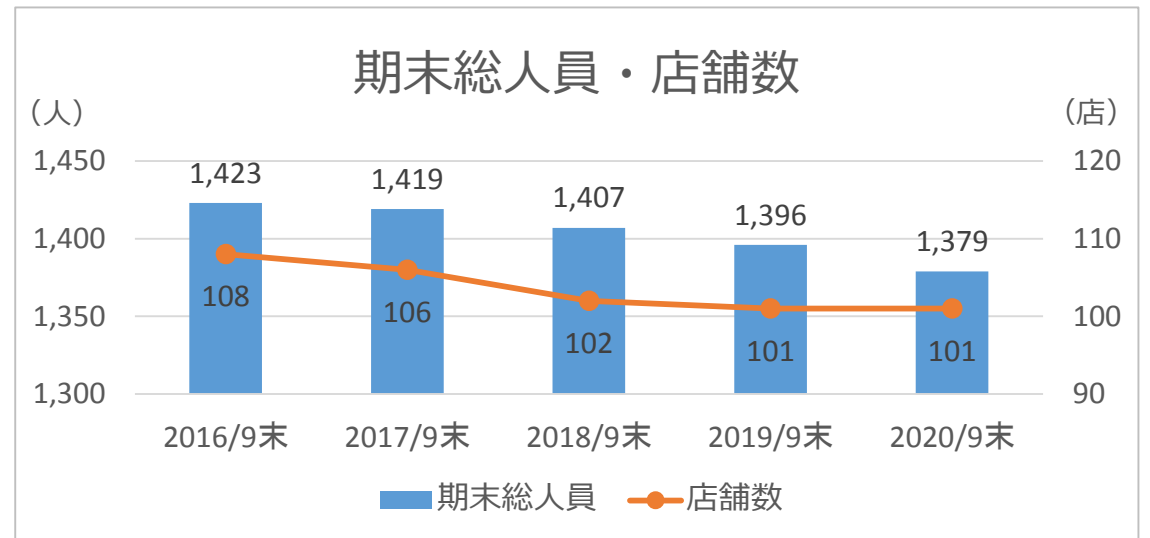
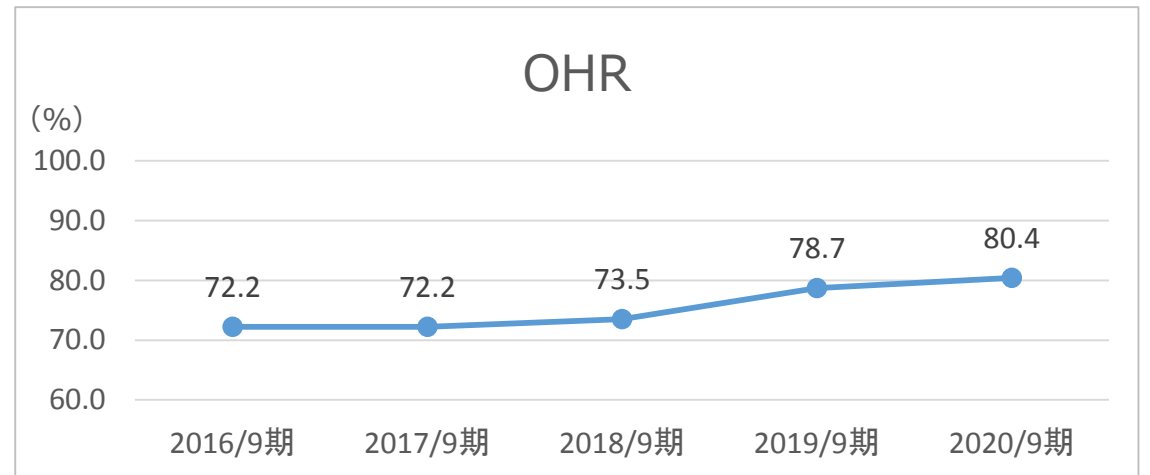
(注) 管理会計ベース

5. 経費及び経営効率

BPR・ICT戦略に基づき業務の見直しと効率化を推し進めました結果、人件費や物件費が減少し、経費は前年同期比1億円減少の119億円となりました。



期末総人員は前年同期末比17人減少の1,379人となりました。近年減少傾向にあります。また、店舗数は前年同期末から変動はありませんが、ランチ・イン・ランチ方式にて3店舗の移転統合を行いました。



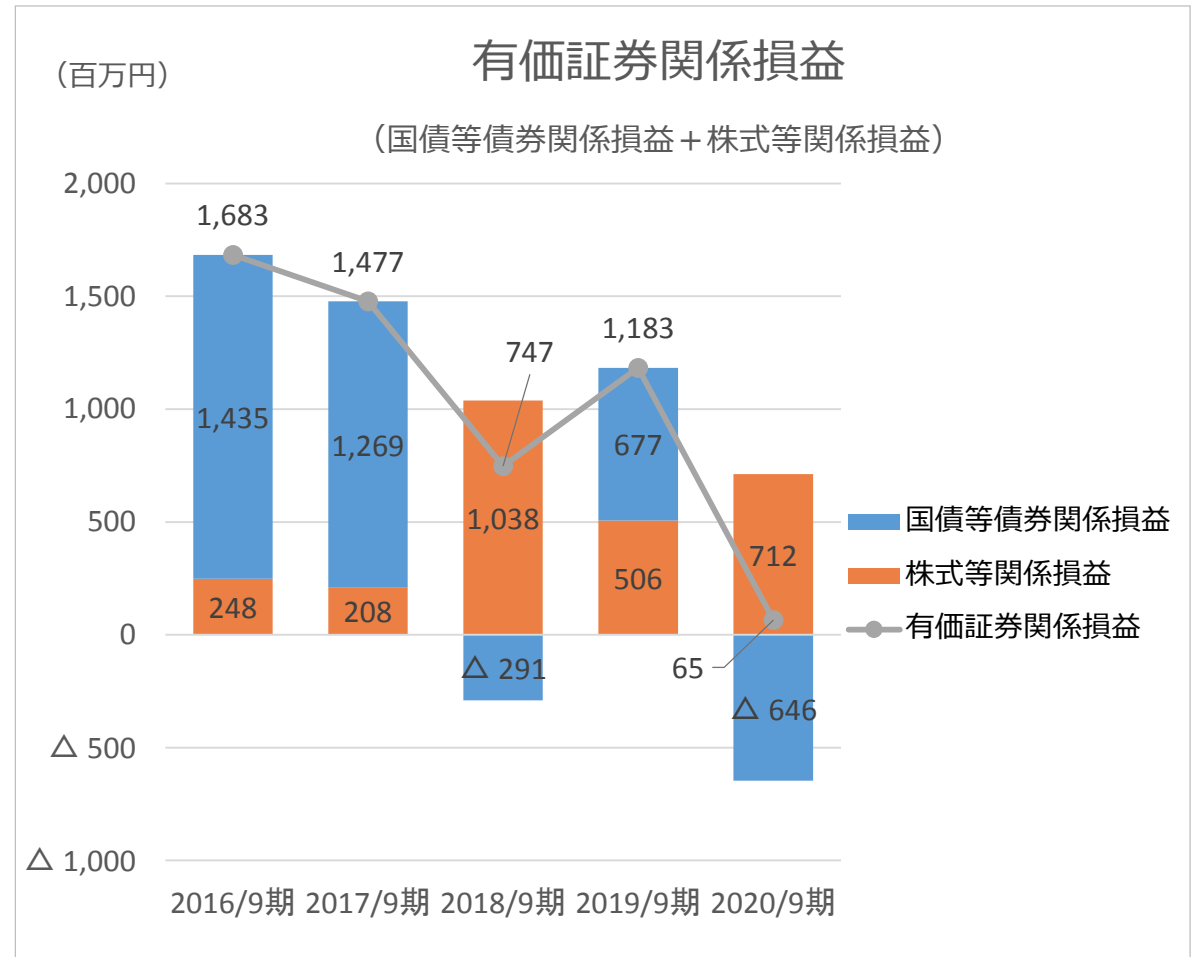
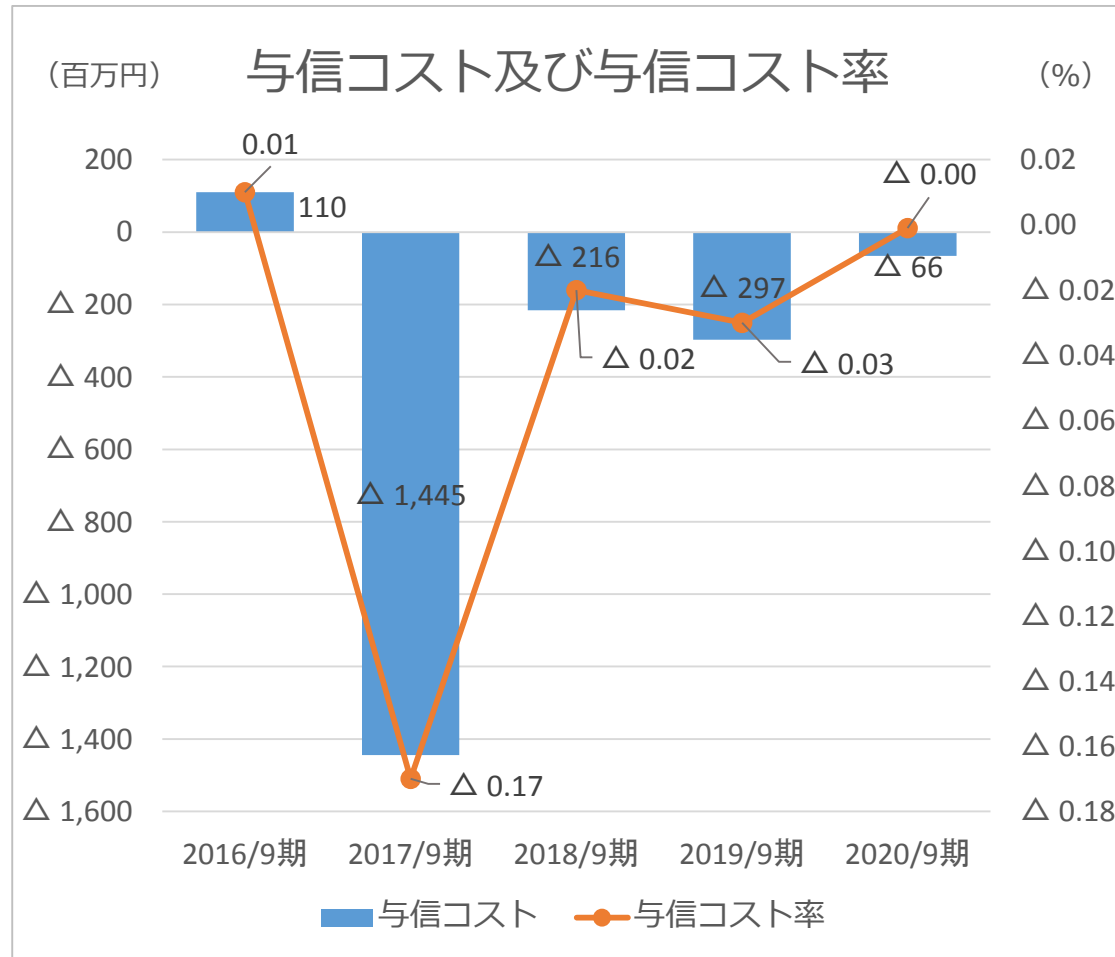
6. 与信コスト及び与信コスト率、有価証券関係損益

与信コスト（=実質与信関係費用）は、近年、低位安定してマイナスが継続しているなか、当期も0億円（66百万円）のマイナスとなりました。与信コスト率につきましても△0.00%となりました。

評価損の拡大している投資信託についてリスク圧縮・ポートフォリオ改善目的から売却を実施したため、国債等債券関係損益は損失となり、有価証券関係損益は前年同期比11億円減少の0億円（65百万円）となりました。

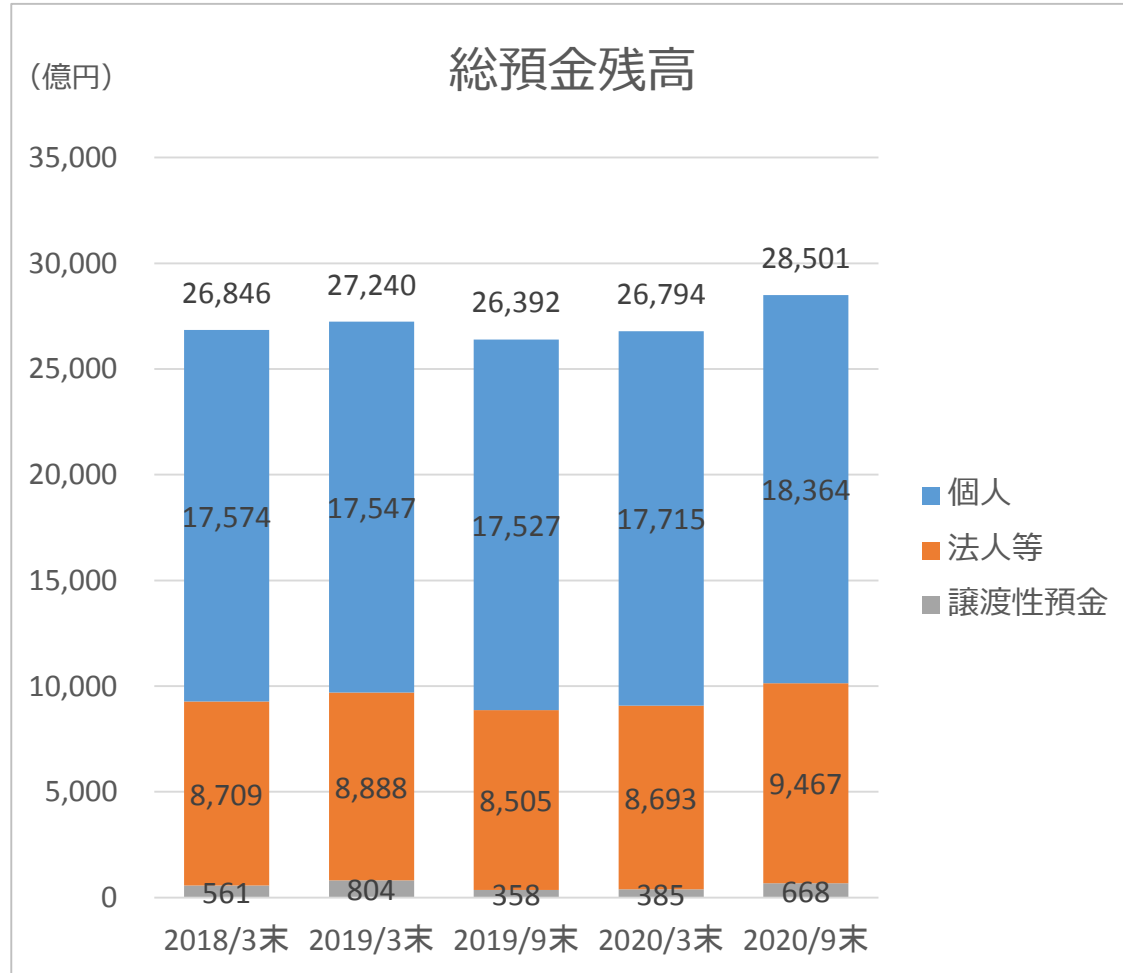
*国債等債券関係損益 = 売却益 + 償還益 - 売却損 - 償還損 - 償却

*株式等関係損益 = 売却益 - 売却損 - 償却

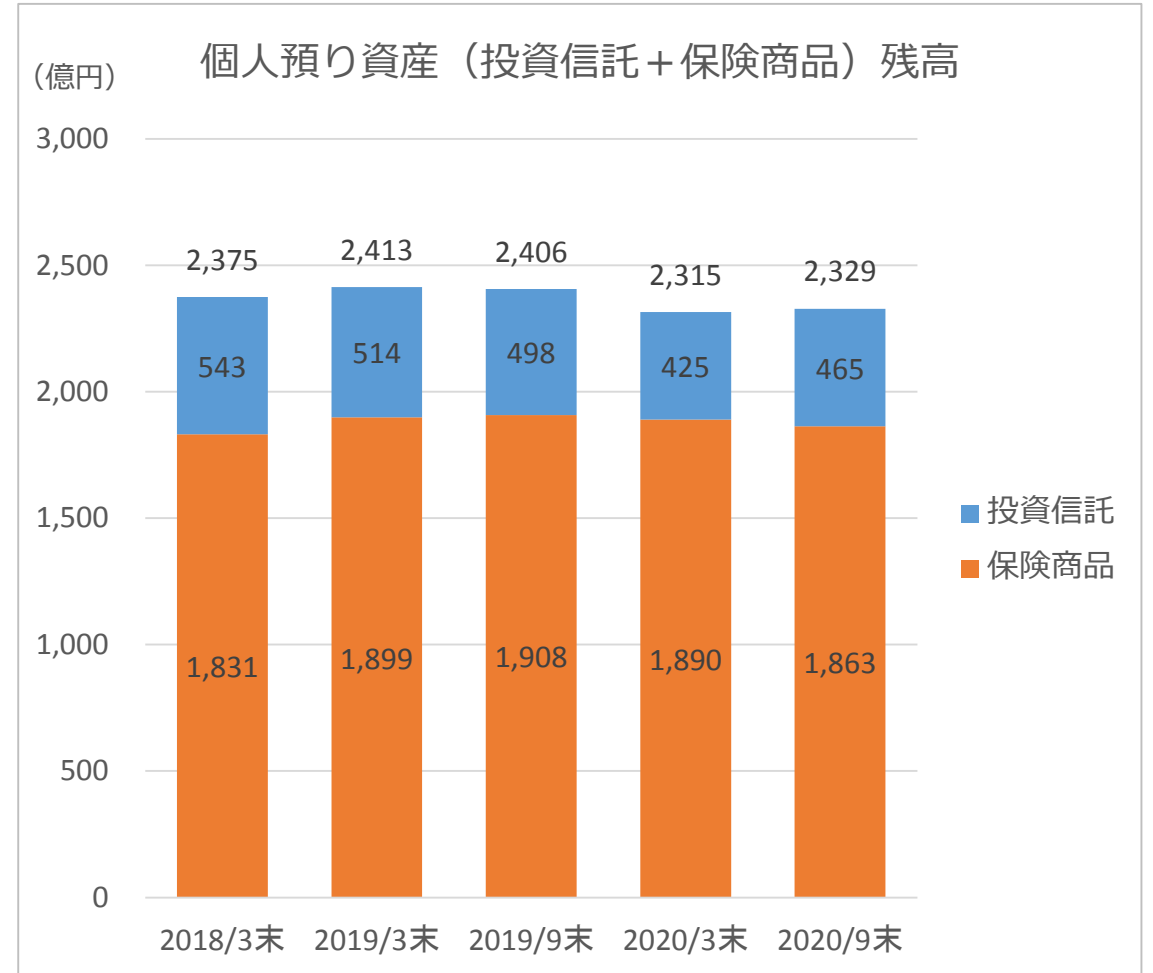


7. 総預金及び個人預り資産残高

個人預金、法人等預金及び譲渡性預金がそれぞれ増加し、総預金（譲渡性預金を含む）は前年同期末比2,109億円増加の2兆8,501億円となりました。前年度末比では1,707億円増加しております。



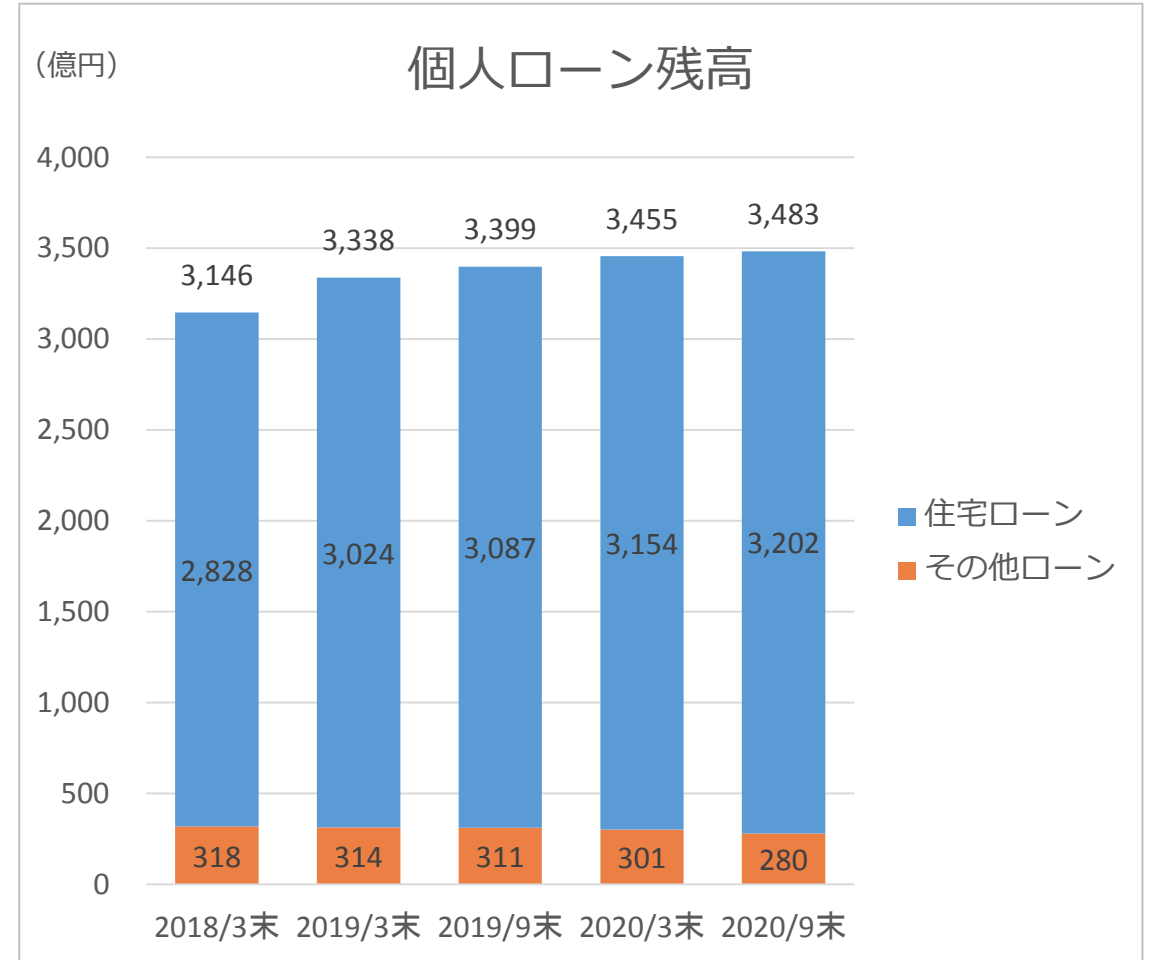
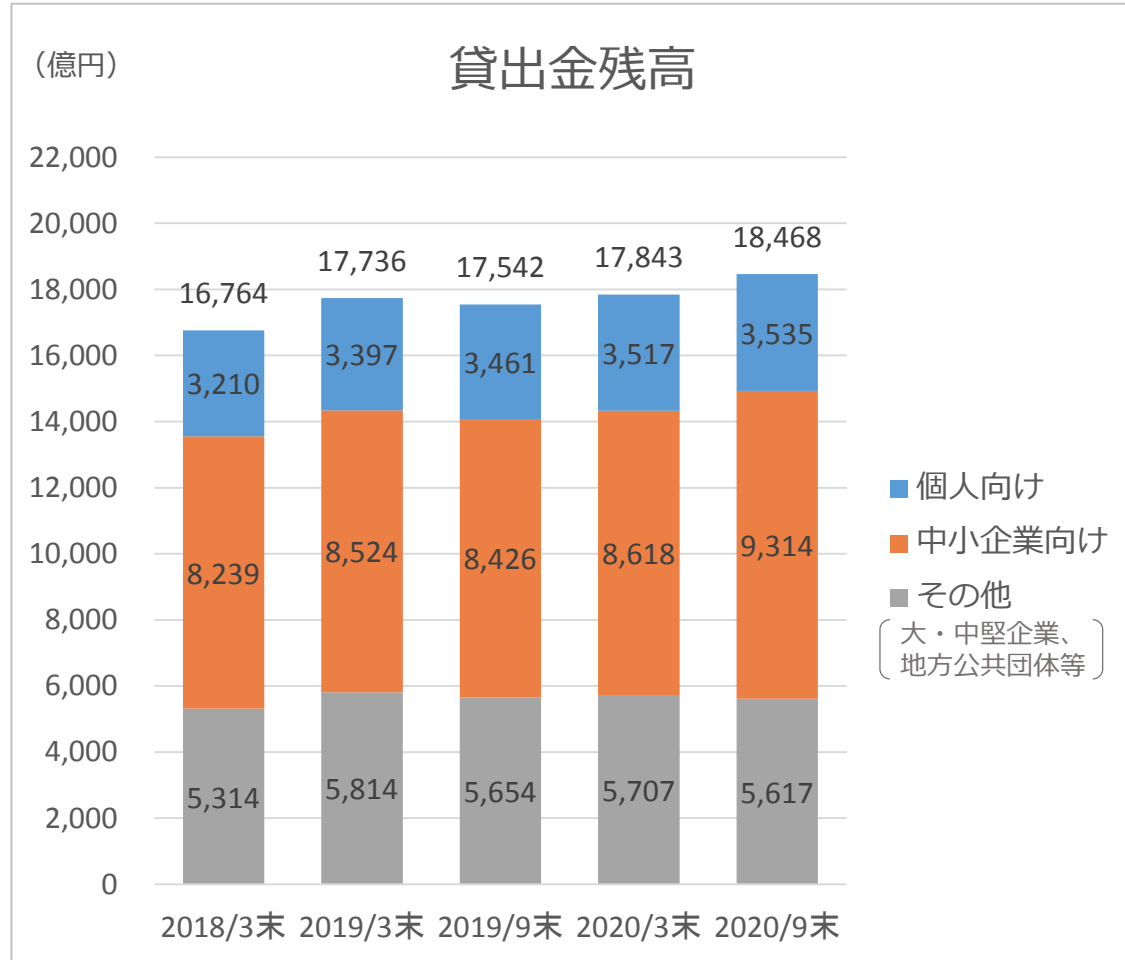
お客さまに寄り添った個人コンサルティング活動を行いました。新型コロナウイルス感染症に配慮した営業活動により、個人預り資産残高は前年同期末比77億円減少の2,329億円となりました。前年度末比では14億円増加しております。



8. 貸出金残高及び個人ローン残高

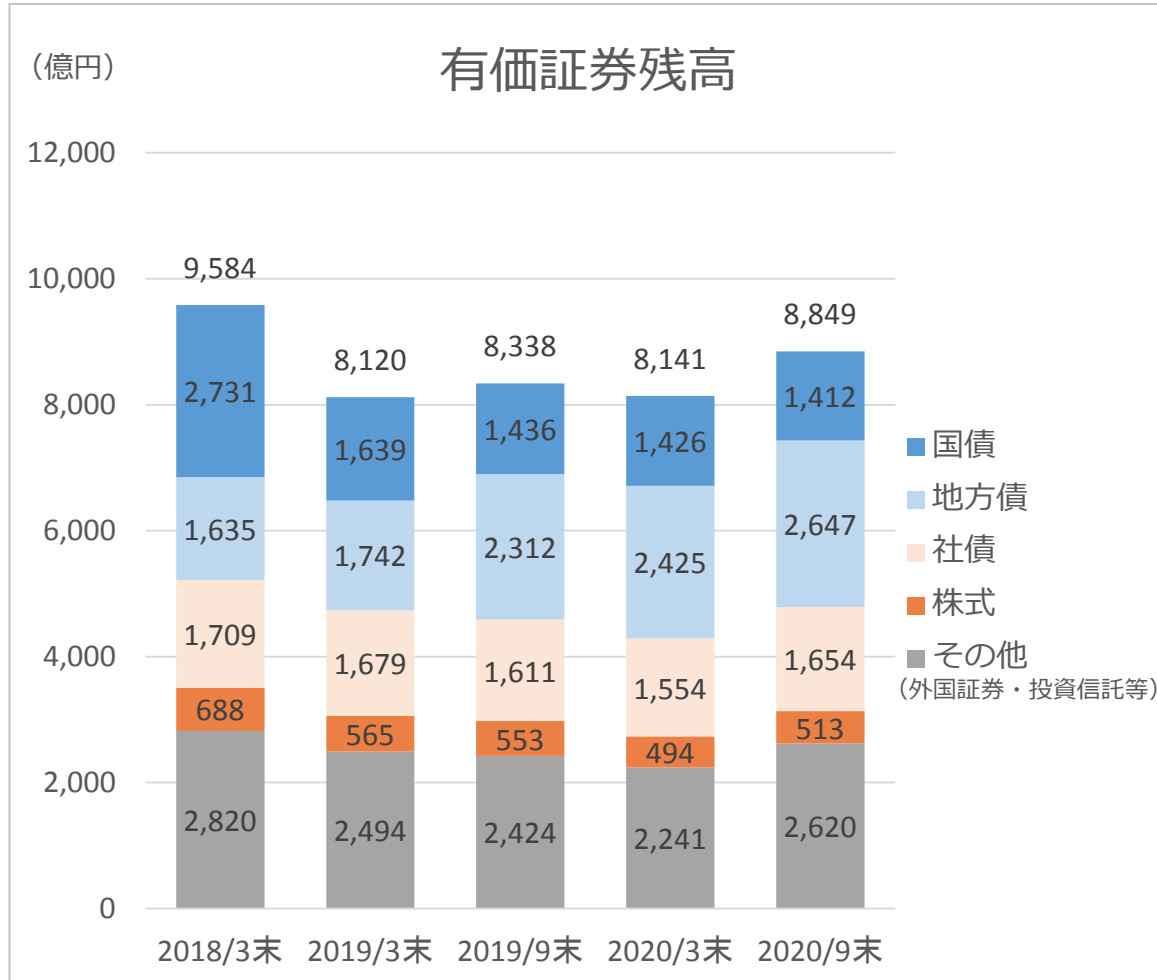
貸出金は、引き続きアセット構造の改革を推進したことにより、大・中堅企業向けは減少しましたが、新型コロナウイルス感染症に伴う資金繰り支援に積極的に対応した結果、中小企業向けの増加等により、前年同期末比926億円増加の1兆8,468億円となりました。前年度末比では625億円増加しております。

個人ローンは、ローンプラザを中心に推進したことで住宅ローンが増加し、前年同期末比84億円増加の3,483億円となりました。前年度末比では28億円増加しております。

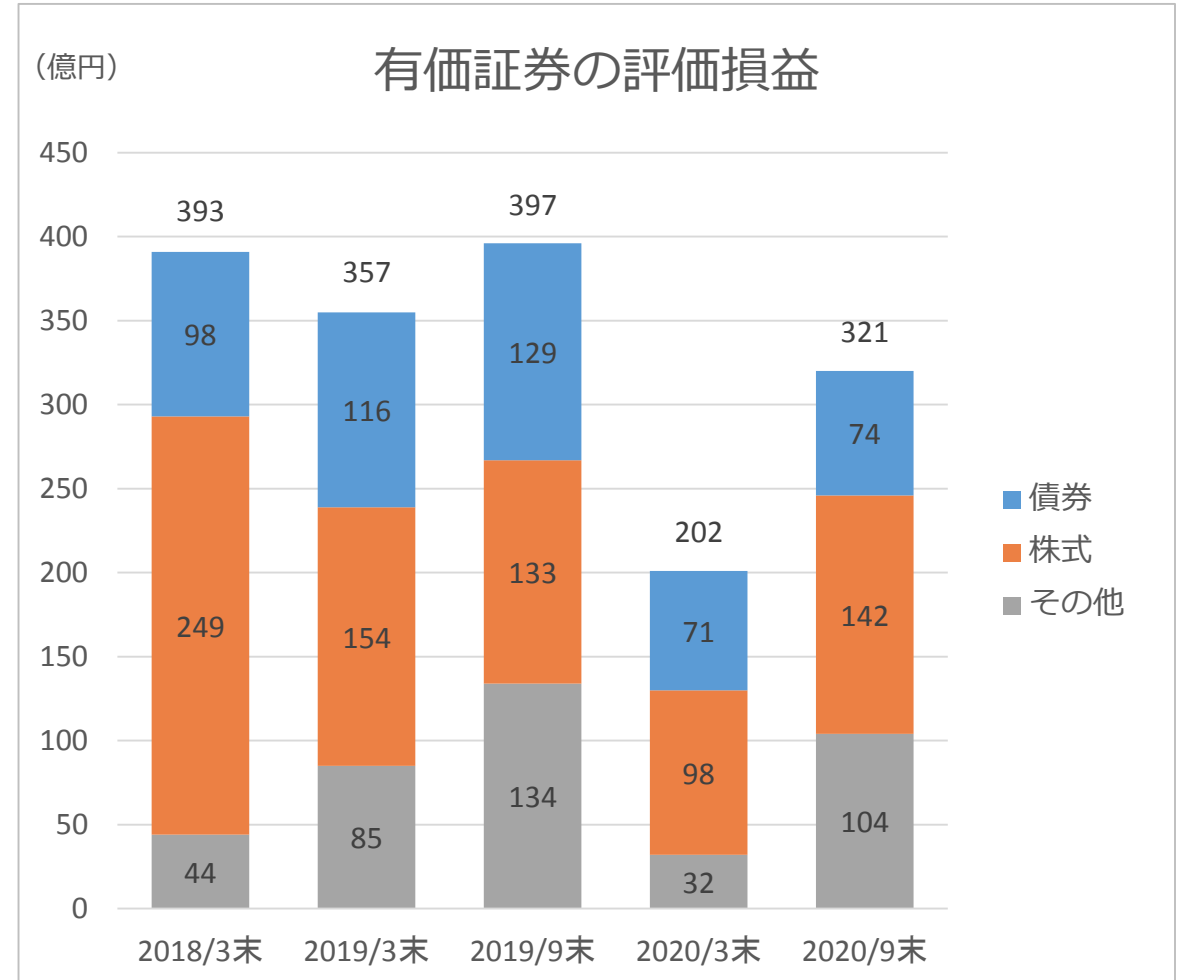


9. 有価証券残高・評価損益

地方債や投資信託を中心に投資しました結果、有価証券残高は前年同期末比511億円増加の8,849億円となりました。前年度末比では708億円増加しております。



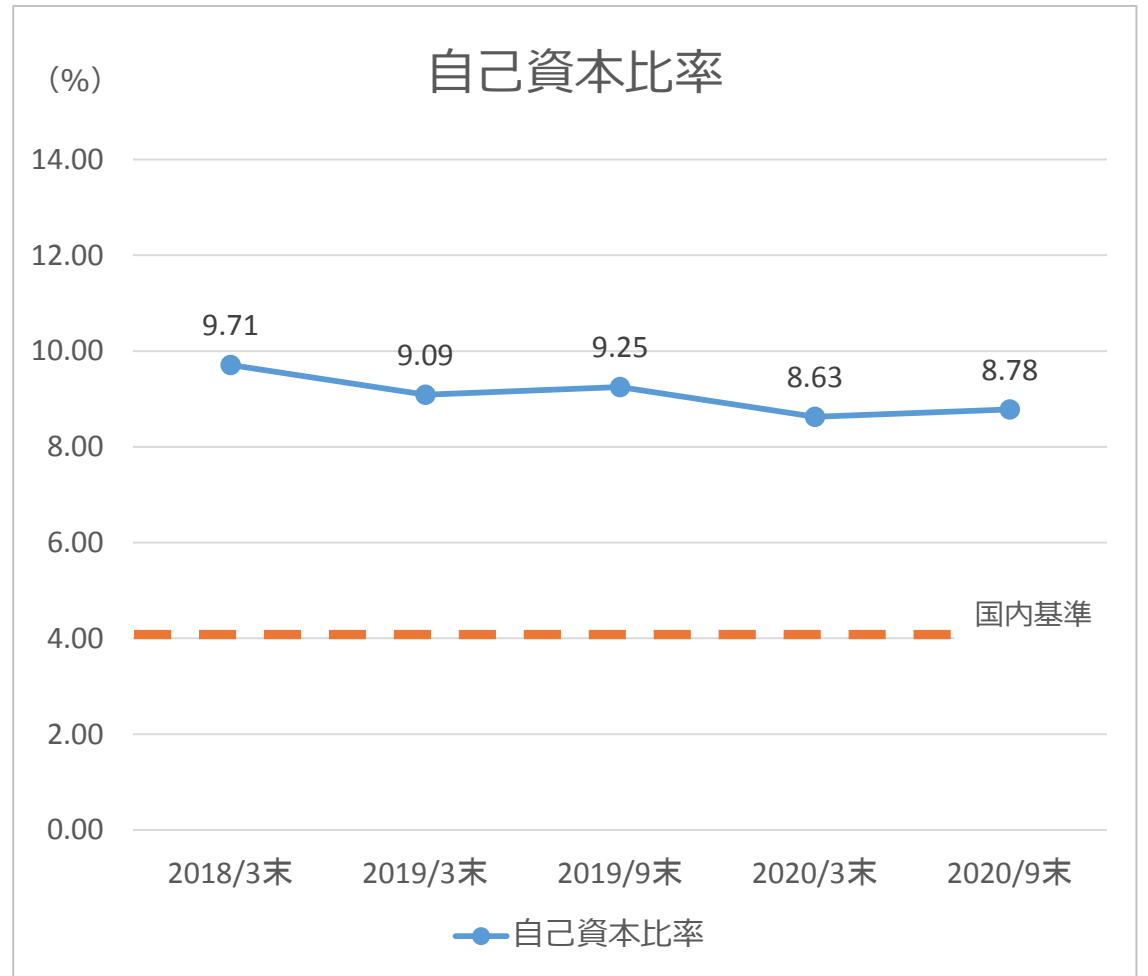
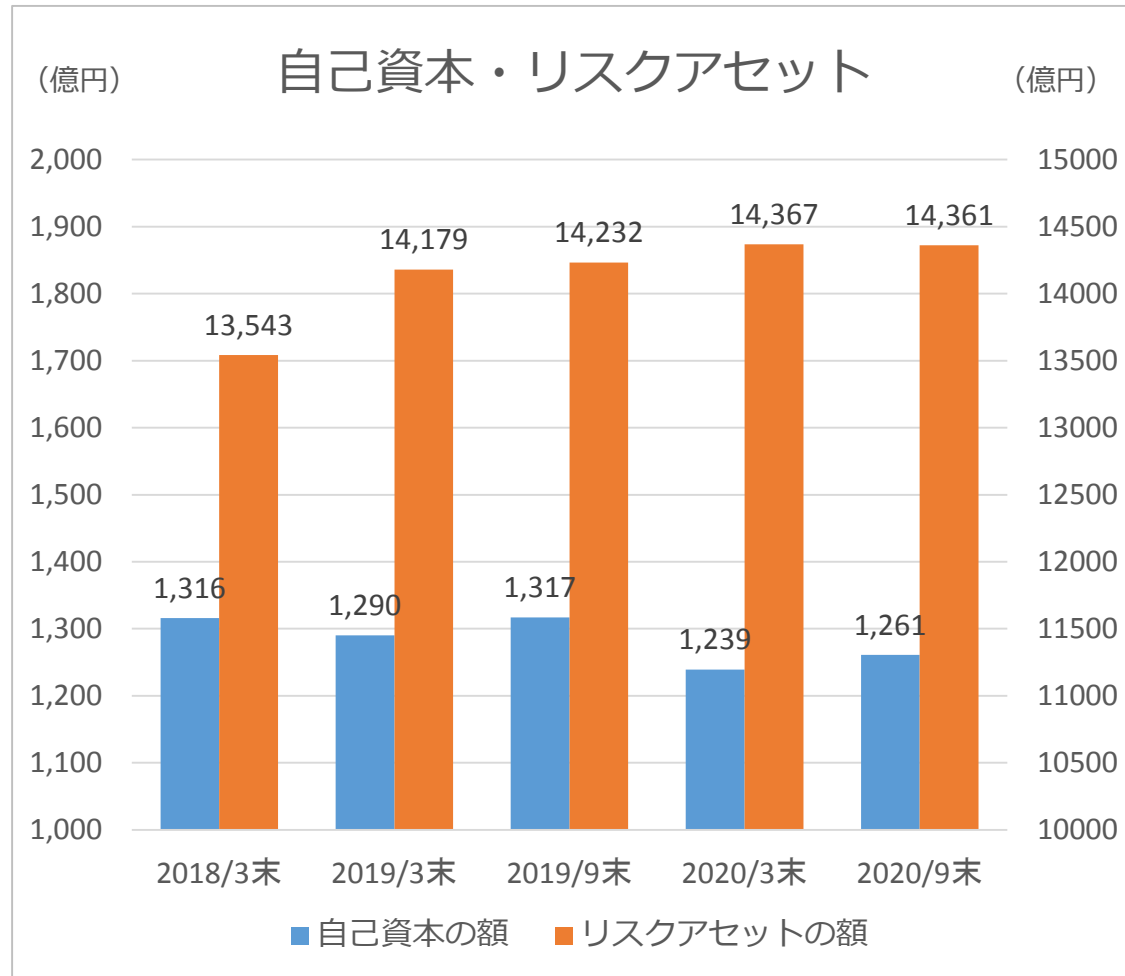
株式の評価益は増加しましたが、債券・その他の評価益が減少し、有価証券の評価損益（含み損益に相当）は前年同期末比76億円減少の321億円となりました。前年度末比では新型コロナウイルス感染症による市場の混乱からの回復もあり119億円増加しております。



10. 自己資本比率

自己資本の額は、中間純利益の内部留保等により、前年度末比22億円増加の1,261億円となりました。また、リスクアセットの額は、前年度末比6億円減少の1兆4,361億円となりました。

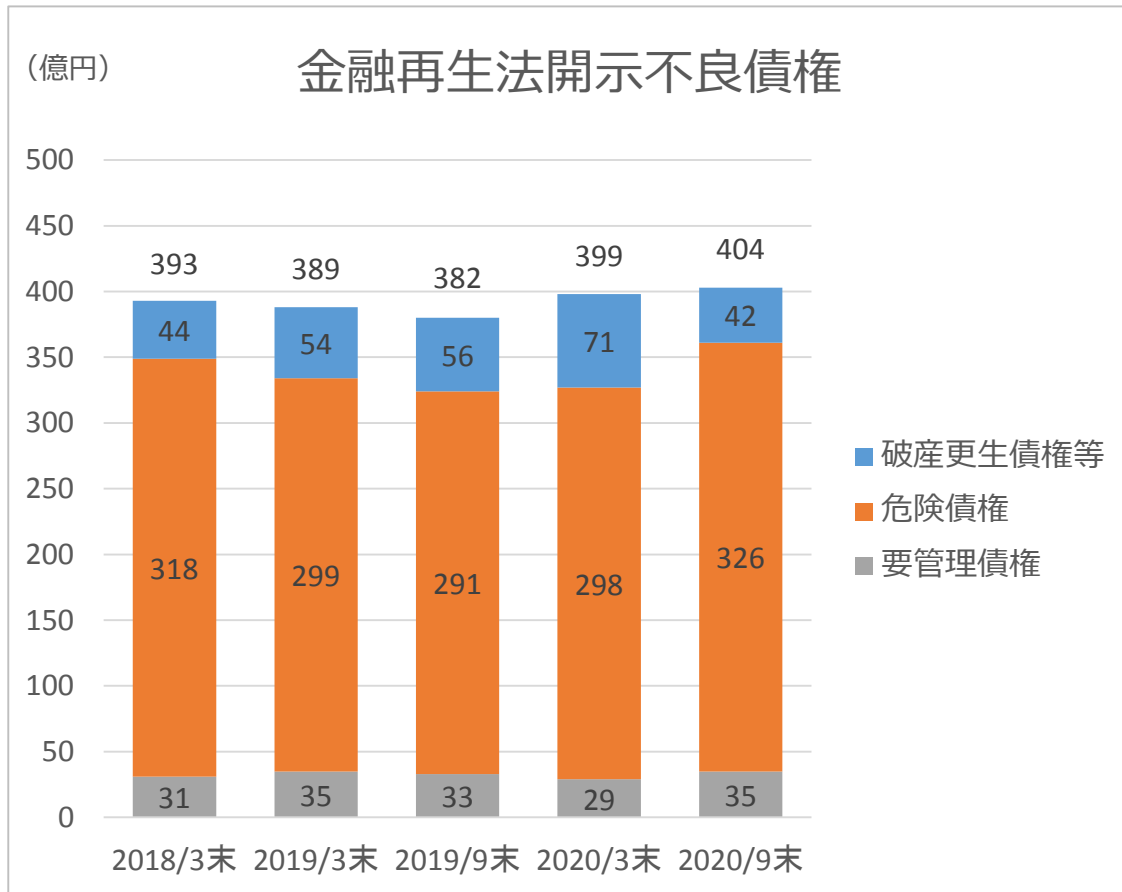
自己資本比率は、左記要因により、前年度末比0.15ポイント上昇し8.78%となりました。国内基準行に求められる4%以上の基準を大きく上回っております。



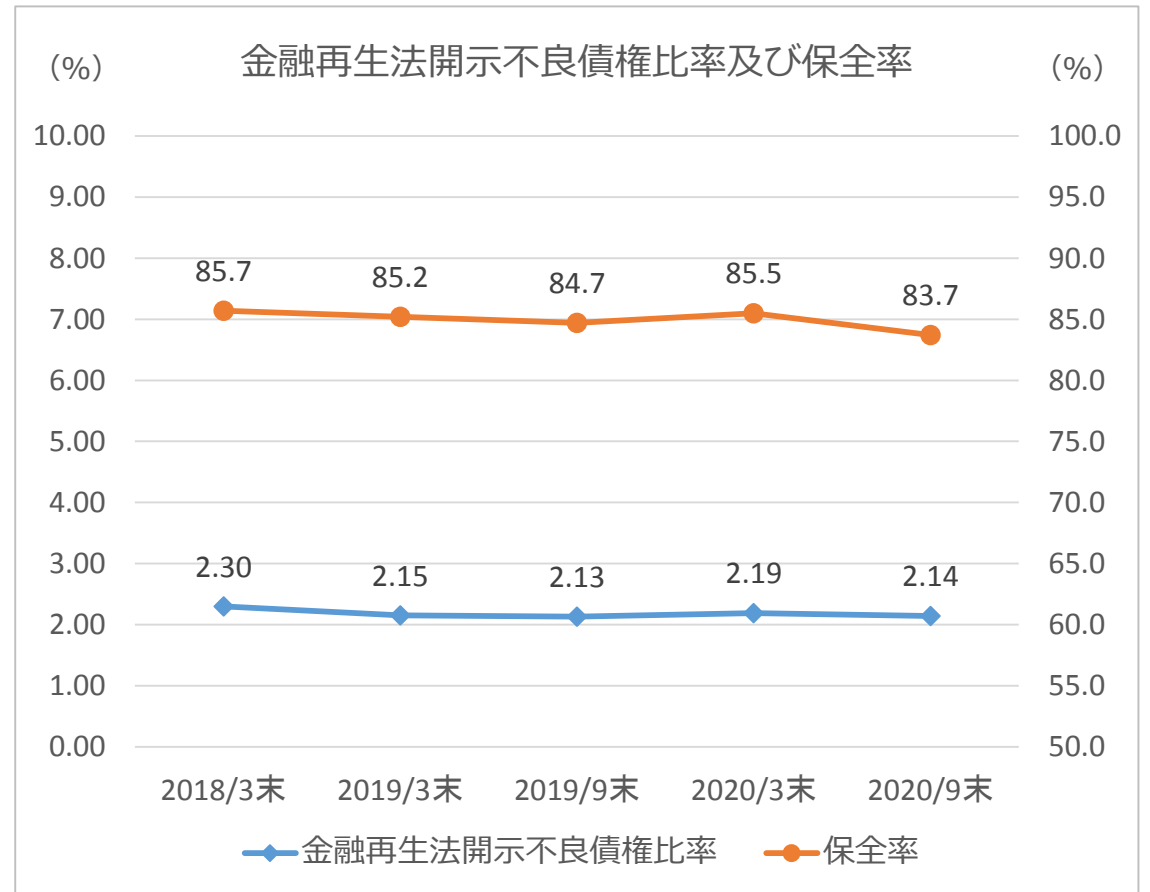
1.1. 不良債権の状況

金融再生法に基づく開示不良債権の総額は、経営改善等中小企業金融の円滑化に取り組むなか、債務者区分の見直しもあり、前年度末比5億円増加の404億円となりました。

* 不良債権総額 = 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 + 危険債権 + 要管理債権



金融再生法開示不良債権比率は、開示不良債権額は増加しましたが正常債権も増加し、前年度末比0.05ポイント低下の2.14%となりました。また、不良債権が貸倒引当金や担保・保証によりカバーされている割合を表す保全率は、前年度末比1.8ポイント低下し83.7%となりましたが、引き続き十分な水準を確保しております。



1 2. 2020年度業績予想

単体の2020年度通期業績につきましては、当中間期の業績等を踏まえ当初予想を上方修正し、経常収益398億円、経常利益72億円、当期純利益45億円を予想しております。

(単位：億円)

	当初予想	修正予想	増減
経常収益	375	398	23
業務粗利益	288	295	7
資金利益	247	256	9
役務取引等利益	41	41	0
その他業務利益	△ 0	△ 2	△ 2
(うち国債等債券関係損益)	2	△ 4	△ 6
経費	240	235	△ 5
実質業務純益	47	59	12
実質与信関係費用	8	7	△ 1
経常利益	54	72	18
当期純利益	30	45	15

1 3. 中期経営計画の進捗状況（4月～9月） 戦略目標 I 四銀スタイルの確立

- 当行の特長である「Just Like Family!な人財力」をベースに、お客さまに対して高度なコンサルティング機能を提供できる人財を開発・育成、「四銀スタイル」の確立につなげています。
- 従業員が健康で、やりがい・働きがいの持てる働き方の実現に向けて取り組んでいます。

人財開発・育成の強化

- 新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、オンラインを活用した研修を積極的に取り入れるなど、新しい研修スタイルに取り組んでいます。

<研修・休日講座受講状況>

	受講者数 (4月～9月)	うちオンライン による受講者数	オンライン 活用率
研修	477人	224人	46.9%
休日開催講座 (自主参加型)	249人	196人	78.7%
合計	726人	420人	57.8%

当行の店舗網が広域に亘る中、受講者の半数以上がオンラインを活用して参加し、従来より受講者数が大幅に増加しました

※オンライン=行内テレビ会議システム等



健康経営と新たな働き方の実現



- 女性の活躍推進に関する取組みが認められ、厚生労働省から「えるぼし」の認定を取得しました。

<主な取組み>

- 性別に関係ない人物重視の採用活動
- 女性支店長の登用や本部企画部門等への積極的な配置



- 子育て支援に関する取組み等が認められ、厚生労働省から「くるみん」（2回目）の認定を取得しました。

<主な取組み>

- 育児休職の取得（男女）
- 男性向け育児セミナー、育児休職者情報交換会の開催



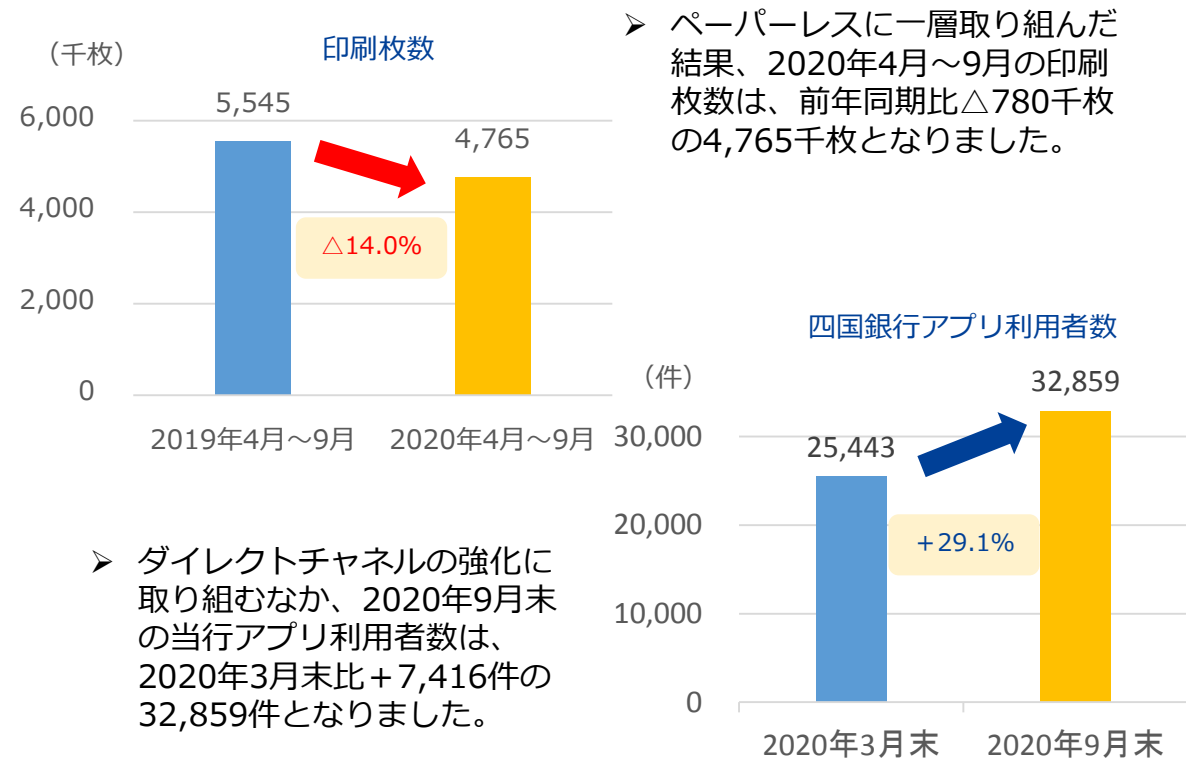
- 育児と仕事の両立支援に取り組む企業として、徳島県が実施する「とくしま子育て大賞」において「子育てサポート賞」を受賞しました。



1 3. 中期経営計画の進捗状況（4月～9月） 戦略目標Ⅱ BPR・ICT戦略の加速

- 業務を徹底的に見直し、効率化することで、生産性向上を図るとともに、働きやすい環境の実現に向けて取り組んでいます。
- 様々なチャネルを通じて、お客さまの利便性向上や質の高いサービス提供に向けて取り組んでいます。

BPR・ICTの取組み



店舗

- 質の高いサービスの提供と、店舗運営の効率化を図るため、3店舗を
ブランチ・イン・ブランチ方式にて移転統合しました。

8月	南国南支店（高知県）を南国支店へ、および国府支店（徳島県）を徳島西支店へブランチ・イン・ブランチ方式で移転
9月	横浜ニュータウン出張所（高知県）を桂浜通支店へブランチ・イン・ブランチ方式で移転

- これからの店舗のあり方として、「The Bridge of Lifetime Finance（人生における金融の架け橋になる）」を目指し、7月に一宮支店（高知県）を次世代型店舗第1号店舗として新築移転しました。



※BPR（Business Process Re-engineering）：現状の業務プロセスを改善し、業務効率を向上させることで、生産性向上を図る。
 ※ICT（Information and Communication Technology）：情報通信（伝達）技術。

1 3. 中期経営計画の進捗状況（4月～9月） 戦略目標Ⅲ 3つのコンサルティング機能の発揮

- ビジネス・個人・地域の3つのコンサルティング機能を発揮し、お客さまの夢や課題解決の“実現”、ゆたかで便利なくらしの“実現”、活力にあふれた地域の“実現”という、「3つの実現」に向けて取り組んでいます。

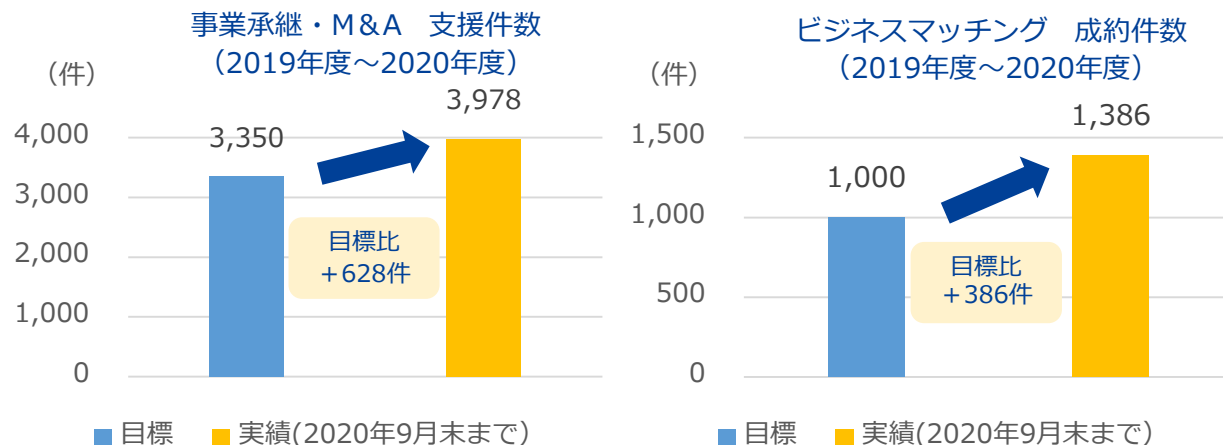
ビジネスコンサルティング・個人コンサルティング・地域コンサルティング

- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大により、事業に影響を受けられたお客さまに対する資金繰りの支援にお応えしています。

<新型コロナウイルス関連対応状況（9月末まで）>

融資実行件数	融資実行金額
4,033件	1,032億円

- ▶ お客さまの経営課題や成長・発展に向け、事業承継・M&Aやビジネスマッチングに取り組み、2020年9月末で2年間の目標を達成しています。



- ▶ お客さまのライフステージに応じたコンサルティング活動を強化するため、8月に当行で2店舗目となる「ほけんプラザ」を南国支店（高知県）に開設しました。

- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている、高知県内の飲食店や観光施設を支援するため、クラウドファンディング「『あすかう』プロジェクト」の特別パートナーとして地域を応援する取組みをサポートしました。

クラウドファンディング
あしたの分も買う(こう)ちよくきね。
～高知の体験型観光プロジェクト～



1 3. 中期経営計画の進捗状況（4月～9月） 戦略目標Ⅳ 持続可能な財務基盤・経営基盤の確立

- 中間期の業績を踏まえ、通期業績予想は、当期純利益ベースで45億円に上方修正しております。
- コンサルティング機能の発揮を通じて、事業所融資先数や事業承継・M&A支援件数等は順調に推移しております。

財務目標に関する進捗状況（単体ベース）

項目	2020年度通期目標	(ご参考)	
当期純利益	30億円以上	中間期	28億円
自己資本比率	8%台	中間期	8.78%
ROE（株主資本ベース）	2.5%以上	中間期	4.8%※1

※1 純利益は年換算で算出

コンサルティング機能の発揮に関する進捗状況

項目	2020年度までの目標		2020年度9月末実績
事業所融資先数	2020年度末	11,500先以上	11,767先
事業承継・M&A支援件数	2019年度～2020年度	3,350件以上	3,978件
ビジネスマッチング成約件数	2019年度～2020年度	1,000件以上	1,386件
投資性商品契約者比率※2	2020年度末	3.5%以上	2.72%
預り資産残高（投信+保険）	2020年度末	2,550億円以上	2,349億円

※2 投資性商品契約者比率 = 20～50歳の投信または保険契約者数 ÷ 同年代の個人預金取引先数

1.3. 中期経営計画の進捗状況（4月～9月） SDGsの取組み

国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、自らの企業活動を通じて持続可能な地域社会の実現に貢献するため、4月1日に「四国銀行 SDGs宣言」を策定し、公表しました。

当行は、SDGsの達成に向け、地域の課題や環境問題の解決に積極的に取り組むことにより、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

＜四国銀行 SDGs宣言＞

四国銀行は、経営理念に基づき、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、地域の課題や環境問題の解決に積極的に取り組むことにより、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

1. 地域経済・地域社会への貢献

地域の金融ニーズに応え、社会の発展に貢献するため、金融仲介機能を十分に発揮するとともに、お客さまや地域の課題解決に向けた取組みを通じて、地域経済・地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。



2. ゆたかで便利なくらしの実現

すべての人々が、ゆたかで便利なくらしを送ることができるよう、金融リテラシーの普及・向上に努め、将来に向けた安定的な資産形成支援や、利便性の高い金融サービスを提供してまいります。



3. 多様性の確保

多様な人材がやりがい・働きがいを感じ、その個性と能力を十分に発揮し活躍できる職場環境を整備してまいります。



4. 環境への配慮

自然豊かな四国を基盤とする地域金融機関として、省エネルギー・省資源など環境負荷の低減に努めるとともに、本業を通じてお客さまの環境保全に向けた事業・取組みを支援してまいります。

